

## 第4章 多胎育児家庭の家庭訪問型支援ニーズ

### はじめに

多胎育児家庭の家庭訪問型支援ニーズについて、まずどの時期に、どのような支援者が、どのような場所で望まれているか、そして求める能力について整理した。

さらに具体的な訪問型支援ニーズについては、1. 多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで、2. 多胎児の退院後から4か月まで、3. 4か月以降1歳未満まで、4. 1歳代、5. 2～3歳代の各時期別に逐語録からまとめた。支援者(誰が)は、1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師 2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職 3) 家事ヘルパー・育児ヘルパー 4) 地域の子育て支援者 5) 多胎ピアサポーター、多胎育児経験者、多胎サークル 6) その他(地域のボランティア、育児経験者) 7) 同行支援について区分し以下の表にまとめた。

また、支援ニーズについては、どのような支援、( )内にはその理由を、当事者の語りを要約し記載、質的に分類した。備考欄には、スキルや特記すべき事項などについて示した。文中の【 】内には支援ニーズを『 』内には支援者や備考欄に記したスキルなど特記することを、「 」内には当事者の語る支援ニーズや理由を、“ ”内にはその中の言語について記した。

### 1. 多胎育児家庭の訪問支援者・訪問支援の場所、訪問支援の方法(時期・回数など)、支援者に求める能力について

#### 1) 訪問支援者について(表 4-1-1、表 4-1-2)

多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまでの訪問支援者は、「先輩ママ」「双子ママ」「ピアママ」や「ピアサポーター」など『多胎育児経験者』が最も多く、次に「保健師」、「医師」、「助産師」、「看護師」等の『専門職』、『家事・育児支援者』の「ヘルパー」の順であった。多胎児の退院後から4か月までの訪問支援者は、『多胎育児経験者』が最も多く、次に『専門職』と『家事・育児支援者』、『地域の人』の順であった。4か月以降1歳未満までの訪問支援者は、『多胎育児経験者』が最も多く、次に『専門職』、『家事・育児支援者』の順であった。1歳代の訪問支援者は、『多胎育児経験者』が最も多く、次に『家事・育児支援者』、次に『地域の人』であった。2～3歳代の訪問支援者は、『家事・育児支援者』が最も多く、次に『多胎育児経験者』であった。

また、当事者の語りでは、“先輩ママの訪問支援”、“入院中の先輩ママの訪問”、“継続的にとか、同じ先輩ママがその時、その時に合ったようにサポートしてくれたらいい”など訪問支援者として「多胎育児経験者」が多数あがった。『専門職』と『多胎育児経験者』が2人で一緒に訪問する「同行訪問」は退院後から4か月までの時期にニーズがあった。上記から母親の訪問支援者のニーズは『多胎育児経験者』、『専門職』、『家事・育児支援者』であった。

表 4-1-1 訪問支援者と支援時期について

訪問支援者		時期	多胎妊娠から 出産、多胎児が 退院するまで	多胎児の退院後 から4か月まで	4か月以降 1歳未満	1歳代	2～3歳代
専門職	保健師	7	10	7	1	1	
	助産師	3	7	2	0	0	
	看護師	1	1	1	4	0	
	医師	4	0	1	0	0	
	専門職(特定無)	3	4	1	1	2	
	病院スタッフ	1	1	0	0	0	
	保育士	0	2	1	1	1	
	栄養士	0	0	3	0	1	
	カウンセラー	0	1	1	0	0	
家事・育児支援者	ヘルパー(家事ヘルパー)	12	23	6	13	14	
	ベビーシッター(育児ヘルパー)	0	0	1	0	0	
	ハウスキーパー	0	0	0	0	1	
研修を受けた 子育て支援者	支援センターのスタッフ	0	0	1	0	0	
	ホームスタート	0	0	0	0	1	
多胎育児経験者	先輩ママ・双子ママ・ピアママ	16	20	14	10	8	
	ピアサポーター(研修を受けた多胎育児経験者)	8	11	6	4	3	
地域の人	近所の人	3	6	2	7	2	
	家事を手伝ってくれる人	0	1	1	0	0	
	タクシー運転手	1	0	2	0	0	
	サポートの人	1	0	0	0	0	
	育児ボランティア	0	0	1	1	1	
	民生委員	0	0	0	2	0	
	誰でも(限定無)	0	2	2	0	0	
育児経験者	単胎の人	1	1	5	0	1	
	パパ友	0	3	0	3	3	
抽出数合計		61	93	58	47	39	

単位:抽出数

表 4-1-2 同行訪問について

同行訪問の支援者	時期 で 出 産 ・ 多 胎 児 が 退 院 す る ま	多 胎 妊 娠 か ら 4 か 月 ま で	多 胎 児 の 退 院 後 か ら 4 か 月 ま で	4 か 月 以 降 1 歳 未 満	1 歳 代	2 ～ 3 歳 代
保健師とピアサポーター(研修を受けた多胎育児経験者)	0	1	0	0	0	0
保健師と先輩ママ	0	5	1	0	0	0
助産師とピアサポーター(研修を受けた多胎育児経験者)	0	1	0	0	0	0
保育士と先輩ママ	0	1	1	0	0	0
専門職(特定無)と多胎育児経験者(パパ・ママ)	1	2	1	0	0	0
合計	1	10	3	0	0	0

単位:抽出数

## 2) 訪問支援の場所について (表 4-1-3)

多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまでの訪問支援の場所は、母親が育児を行っている『自宅・実家』が最も多く、次に「母親の入院中の病院・ベットのサイド」などの『入院中の医療機関』であった。また、少数ではあるが「多胎ファミリー教室」、「プレパパママ教室」などの『情報交換場所』であった。多胎児の退院後から4か月までの訪問支援の場所は、『自宅・実家』が最も多く、次に「子どもが入院しているNICUの病院」、「母親の入院中の病院・ベットのサイド」など『入院中の医療機関』であった。4か月以降1歳未満までの訪問支援の場所は、『自宅・実家』が多く、次に、「通院・予防接種などの病院」、「公園等」の『子どもを連れての外出場所』であった。「サークル」「交流会」などの『情報交換場所』であった。1歳代の訪問支援の場所は、『自宅・実家』が多く、次に『子どもを連れての外出場所』であった。2～3歳代の訪問支援の場所は、『自宅・実家』が多く、次に「公園」「買い物」などの『子どもを連れての外出場所』であった。

表 4-1-3 訪問支援の場所について

支援場所	時期 で 出 産 ・ 多 胎 児 が 退 院 す る ま	多 胎 妊 娠 か ら 4 か 月 ま で	多 胎 児 の 退 院 後 か ら 4 か 月 ま で	4 か 月 以 降 1 歳 未 満	1 歳 代	2 ～ 3 歳 代
自宅・実家	自宅(家庭)	34	67	42	29	19
	実家	1	2	0	0	0
入院中の医療機関	母親の入院中の病院・ベットのサイド	24	4	0	0	0
	子どもがNICUに入院している病院	1	5	0	0	0
子どもを連れての外出場所	通院・予防接種などの病院	0	0	6	0	0
	健診会場	0	0	1	0	0
	公園等の外出場所	0	2	5	6	2
	買物先	0	2	0	0	3
情報交換場所	サークル、双子のつどい、交流会、集いの場	1	1	5	3	2
	多胎ファミリー教室・プレパパママ教室など	4	0	0	0	0

単位:抽出数

### 3) 訪問支援の方法（時期・回数など）について

訪問支援の方法として、“妊婦への家庭訪問は妊娠前期、母子健康手帳を受けてから1か月後に1回と、20週に1回行ってほしい”、“妊娠期から接点を持ち育児期に訪問支援に繋げる”、“継続的にとか、その時に合ったようにサポートしてくれたらいい”や“訪問は退院後 1～2 週間という早期や継続的にしてほしい”、“定期的な訪問”、“退院後からは訪問者の人数を2名とする”などがあがった。また、“岐阜では退院時に多胎ネットに連絡がきて退院前に病院に訪問したりしている。入院中は月一回定期的に訪問している。”、“月1回訪問。ベッドサイドに行くのと外来で通院されている方とお話をする場合もある”など訪問支援の具体的なニーズや事例もあがった。

### 4) 訪問支援者に求める能力について（表 4-1-4）

多胎育児家庭の訪問支援者に求める能力は、「保健師」、「助産師」、「看護師」、「医師」などの『専門職の資格』や『研修を受けている人(研修を受けた者)』、『多胎育児経験者』、『多胎育児の理解者』であった。また、「実母のような人」、「おばちゃんのような人」などの『支援者の人柄』を示す内容などであった。このことから、多胎育児家庭の支援に必要な知識を持ち、多胎育児の理解者である支援者が求められていると考える。

表 4-1-4 訪問支援者に求める能力について

項目	語りの一部
専門職の資格	保健師
	助産師
	看護師
	医師
研修を受けた者	ピアサポーター研修を受けた人
	ボランティア養成を受けた人
	訓練を受けたドライバー
	研修を受けた人
多胎育児経験者	子どもの性別が同じ組み合わせの人
	多胎育児経験者
多胎育児の理解者	多胎のことを知っていてくれる人
	多胎の支援、育児に特化した理解を示してくれる人
	多胎のことをよく知っている・理解している専門職
支援者の人柄	実母のような人
	第2の母のような人
	おばあちゃんみたいな人
	安心感のある人
	家族を教育できる人
	専門的過ぎない人

## 2. 多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまでの家庭訪問型支援ニーズ

多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまでの家庭訪問型支援ニーズは、1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師 では、【安静のアドバイスや多胎と単胎の違いについてのレクチャー】【多胎サークルや利用できる制度の紹介】【医療専門職と多胎育児経験者によるプレママパパ教室の開催】【NICU 入院時の授乳指導や病院訪問】であった。2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職では、【産褥およびNICU入院中の保健師訪問による行政手続きなどの説明】であった。3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーでは、【掃除・片付け・買い物などの家事支援と外出サポート】【多胎児の兄姉の育児支援】であった。4) 地域の子育て支援者については、妊娠期に求められる支援ニーズはなかった。5) 多胎ピアサポーター、多胎の先輩ママ・パパでは、【多胎妊娠や出産・育児に関する経験談】【多胎妊婦への情報提供】【多胎育児のノウハウや育児情報の提供】【多胎妊婦への寄り添い】【多胎妊婦への外出サポート】【多胎ママやパパの仲間作り】【多胎妊婦や家族の多胎育児のイメージ作り】【多胎児の父親になるための情報交換】【妊娠期からの継続した訪問型支援】であった。6) その他（地域のボランティア、育児経験者など）では、【日常生活の支えや寄り添い】【NICU入院中の母乳の運搬】であった。以下、支援者別の支援ニーズについて報告する。

### 1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問型支援ニーズ

#### (1) 安静のアドバイスや多胎と単胎の違いについてのレクチャー（表 4-2-1-1）

『産科医師』への訪問型支援ニーズは、「安静のアドバイスや、双子がどうお腹の中で育つのかを教えてください（どう安静にしたらよいのかわからない）」、『助産師』には、「一人の出産との違い教えてください」、『保健師』には、「妊婦訪問は前期、母子健康手帳を受けてから1か月後に1回と、20週に1回」と【安静のアドバイスや多胎と単胎の違いについてのレクチャー】であった。

表 4-2-1-1 安静のアドバイスや多胎と単胎の違いについてのレクチャー

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
産科医師	安静のアドバイスや、双子がどうお腹の中で育つのかを教えてください(どう安静にしたらよいのかわからない)	自宅
助産師	一人の出産との違い教えてください(三つ子妊娠中で外へ出られない)	自宅や病院のベットのサイド
	個別のお話不安(体調によって個別対応が必要、安静にしなければならぬ状況)	
保健師	妊婦訪問は前期、母子健康手帳を受けてから1か月後に1回と、20週に1回行ってほしい(マイナートラブルが出現してくる時期で、妊婦が保健師のアドバイスを受け入れやすい)	自宅
	「それ(支援の案内)、母子健康手帳のときに説明して配ってるから、皆さんに言ってあるんでもう話すことないですよね」って言われる。妊娠3か月で母子手帳をもらったときの気持ちと、実際、妊娠7か月になって上の子どうしようと思ったときで(必要な情報が違うから)	

### (2) 多胎サークルや利用できる制度の紹介 (表 4-2-1-2)

『看護師』への訪問型支援ニーズは、「病院の先生や看護師さんたちからサークルの紹介」や、『保健師』には、「産後に使える制度」や、「病院での情報提供やサークルの紹介」など、【多胎サークルや利用できる制度の紹介】であった。また、訪問型支援ニーズではないが、『役所の窓口』で、「妊娠届を出した時に多胎の会などを紹介」や、「母子健康手帳をもらうとき、双子の支援について」などの情報提供を求めている。

表 4-2-1-2 多胎サークルや利用できる制度の紹介

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
看護師	病院の先生や看護師さんたちからサークルの紹介をうける。(1週間後、子ども2人抱えて、ただ泣くだけで方法をどこに連絡取って、どうしていいかも想定してなかったからわからないというお母様は現実いる)	入院中
保健師	産後に使える制度を知りたい(始めのスタートのところでちょっとそういうのがあると、あとあと違う)	自宅や病院のベットのサイド
	病院での情報提供やサークルの紹介(病院スタッフは多胎育児の具体的なことを知らない人が多い)	
保健師 役所の窓口の担当者	妊娠届を出した時に多胎の会などを紹介する	母子健康手帳を渡す担当者 役所の窓口
	母子健康手帳をもらうとき、双子の支援をしてもらえる手帳で(支援を)教えてもらったが、もうとうに過ぎてた。満1歳までにみたいなのもあって、そういうのがちゃんと使っていけたら、なんかもうちょっと(楽になれたのに)。	

### (3) 多胎妊娠・出産・育児の基礎知識などのレクチャー (表 4-2-1-3)

『医療専門職と多胎育児経験者(先輩ママ・パパ)』への訪問型支援ニーズは、「多胎ファミリー教室や、多胎ママ用の母親学級、プレママ・パパ教室」などを開催し、「多胎妊娠・出産・育児のことを家族にも知ってもらいたい」や、「双子の育ち方や、妊娠中に気を付ける事」など【多胎妊娠・出産・育児の基礎知識などのレクチャー】であった。

表 4-2-1-3 多胎妊娠・出産・育児の基礎知識などのレクチャー

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
医療専門職と多胎 育児経験者(先輩 ママ/パパ)	多胎ファミリー教室(多胎妊娠・出産・育児のことを家族にも知ってもらいたい。産後の支援につながる。支援の入り口。多胎妊娠・出産・育児の情報提供と不安な気持ちの寄り添い。相談窓口の獲得。父親への指導をしてほしい。)	公共施設や病院  多胎についてよく知っている
	多胎ママ用の母親学級(単胎用はあまり参考にならなかった。双子の育ち方や、妊娠中に気を付ける事など、1回でもあれば良かった)	
	プレママ・パパ教室 単胎と多胎児の違いなどの情報提供(単胎の方たち入院中に母親学級はあるが、多胎については全然ない。)	入院中

#### (4) NICU 入院時の授乳指導や病院訪問 (表 4-2-1-4)

多胎児がNICUに入院した場合の、『助産師』への訪問型支援ニーズは、「おっぱいケア」などの『授乳指導』、『先輩ママ』には、「NICU面会時の付き添い 上の子を一緒に連れて行くときの付き添い」、『ピアサポーター』には、「退院する前のシミュレーション」などを行う『病院訪問』など、【NICU 入院時の授乳指導や病院訪問】であった。

表 4-2-1-4 NICU 入院時の授乳指導や病院訪問

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
助産師	おっぱいケア(家庭に帰るとお母さんはいそがしいので、病院にいるうちにやってもらいたい)	授乳指導
	授乳指導や体調の相談、子どもの様子	多胎のことを理解している
先輩ママ	NICU面会時の付き添い、上の子を一緒に連れて行くときの付き添い	外出サポート
ピアサポーター	退院する2日ぐらい前に、お母さんだけでおっぱいやってみてどうだったかをきいてみる。(その後の大変さを想像されてない方とかがいる。)	病院訪問
	おうちに帰ったときのシミュレーションができるような病院がある。	

## 2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職への訪問型支援ニーズ

### (1) 産褥およびNICU入院中の保健師訪問による行政手続きなどの説明 (表 4-2-2-1)

『保健師』への訪問型支援ニーズは、「入院中だどご主人もなかなか動けなかったりとかして、説明もきちんと受けられなかったりする。保健師さんも妊娠中から顔を合わせて。実際に担当の保健師さんが病院とかに来てもらえるるとすごく安心感がある」と、【産褥およびNICU入院中の保健師訪問による行政手続きなどの説明】であった。

表 4-2-2-1 産褥およびNICU入院中の保健師訪問による行政手続きなどの説明

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保健師	行政の手続き(入院中だどご主人もなかなか動けなかったりとかして、説明もきちんと受けられなかったりする。保健師さんもその後ずっと関わってくる人なので、やっぱり妊娠中から顔を合わせてほしい。たとえば地区の保健師さんでも担当が決まっているとかというところもあると思うので、実際に担当の保健師さんが病院とかに来てもらえるるとすごく安心感があるかなと思うので)	産褥入院中 NICU入院中

## 3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーへの訪問型支援ニーズ

### (1) 掃除・片付け・買い物などの家事支援と外出サポート (表 4-2-3-1)

『家事ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、多胎妊娠中の妊婦の「買い物代行」や、『掃除片付け』などの、【掃除・片付け・買い物などの家事支援と外出サポート】であった。

表 4-2-3-1 掃除・片付け・買い物などの家事支援と外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
家事ヘルパー	家事支援(妊娠後期や安静時は動けなくなる)	自宅での家事支援
	買い物の代行(つわりのときから)	
	掃除・片付け(訪問の支援をしてほしくても、片付いてないと人に入ってもらえないという気持ちがすごくある)	
	掃除・片付け(他人が来るということに対してすごく構えるお母さんたちが多い。無料で掃除や片づけをしてもらえば、育児の訪問支援も受けやすくなる)	
ヘルパー	外出時に、一緒についてきてくれる無料支援	外出サポート

## (2) 多胎児の兄姉の育児支援 (表 4-2-3-2)

『育児ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、妊娠中の「入院中に上の子のお世話」や、「自宅安静時の家事、上の子の世話」などの【多胎児の兄姉の育児支援】であった。

表 4-2-3-2 多胎児の兄姉の育児支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
育児ヘルパー	入院中に上の子のお世話	
	自宅安静時の家事、上の子の世話を無料で	自宅

## 4) 地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズ

地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズはなかった。

## 5) 多胎ピアサポーター、多胎の先輩ママ・パパへの訪問型支援ニーズ

### (1) 多胎妊娠や出産・育児に関する経験談 (表 4-2-5-1)

『先輩ママ』や『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「ふたごの出産のこと」や、「双子のお母さんの経験談、準備するもの、夫や祖父母へお伝えしたいこと、上の子のこと」を、「ママや夫や祖父母に対して多胎妊娠や出産の体験を話す」など、【多胎妊娠や出産・育児に関する経験談】であった。

表 4-2-5-1 多胎妊娠や出産・育児に関する経験談

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	ふたごの出産のこと、体験を話す	病院または自宅
	双子のお母さんの経験談、準備するもの、夫や祖父母へお伝えしたいこと、上の子のこと	
	支援があっても、その情報を知らない。経験者が伝えるとよい。	
ピアサポーター	経験者の話、経験談をききたい	
	ママや夫や祖父母に対して多胎妊娠や出産の体験を話す	



(2) 多胎妊婦への情報提供 (表 4-2-5-2)

『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、『両親教室』や、『病院』などで「双子の会」や「双子育児について」などの【多胎妊婦への情報提供】であった。

表 4-2-5-2 多胎妊婦への情報提供

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	双子の会紹介など情報提供	両親教室
	産後の様子、双子育児について話したりすることで情報提供	病院

(3) 多胎育児のノウハウや育児情報の提供 (表 4-2-5-3)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「多胎育児の裏ワザ伝授」や「双子の育児のノウハウ」など、【多胎育児のノウハウや育児情報の提供】であった。

表 4-2-5-3 多胎育児のノウハウや育児情報の提供

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	多胎育児の裏ワザ伝授(授乳や沐浴)多胎児特有の育児情報、妊娠中からいろんな情報を知っているとよい。プラスアルファで双子ならではのちょっとした知識、アドバイスがあれば、帰ってからの安心感にもつながる。	入院中の病院
	双子の育児のノウハウ(双子ならではのちょっとした知識、アドバイスがあれば、帰ってからの安心感にもつながる)家庭の現状を見て、必要な物などを教えてもらう	自宅

(4) 多胎妊婦への寄り添い (表 4-2-5-4)

『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「月1回病院へ訪問。ベッドサイドに行くのと、外来で通院されている方とお話をする場合もある」「産後の様子、双子育児について話したりすることで気持ちの寄り添い」「家族に母親の悩みなど事例紹介」などの【多胎妊婦への寄り添い】であった。

表 4-2-5-4 多胎妊婦への寄り添い

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	(自団体でやっているのは)月1回病院へ訪問。ベッドサイドに行くのと、外来で通院されている方とお話をする場合もある	病院または自宅
	産後の様子、双子育児について話したりすることで気持ちの寄り添い。	
	家族に母親の悩みなど事例紹介	

(5) 多胎妊婦への外出サポート (表 4-2-5-5)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「一緒に外にでてくれる支援。外出時の同行」と、【多胎妊婦への外出サポート】であった。

表 4-2-5-5 多胎妊婦への外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	一緒に外にでてくれる支援。外出時の同行	自宅

(6) 多胎ママやパパの仲間づくり (表 4-2-5-6)

『ピアサポーター』や『先輩パパ』への訪問型支援ニーズは、『病院』や『両親学級』の場を通じての「仲間づくり」「パパ友づくり」などの【多胎ママやパパの仲間づくり】であった。

表 4-2-5-6 多胎ママや、パパの仲間づくり

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	仲間づくり(管理入院等をしてしまい、皆なかなか出てこられない。病院が一番いい。)	病院
先輩パパ	パパ友づくり	両親学級

(7) 多胎妊婦や家族の多胎育児のイメージづくり (表 4-2-5-7)

『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、『病院』にて「ママが退院する前や赤ちゃんが退院する前に双子育児のイメージが獲得できるよう体験を話したり相談に乗ったりする。家族も交えて話が聞けると良い」といったものや、『家庭』で「片方の子が入院していて、ママが母乳を運ぶ時に残った子を見ていてくれる。その間に、祖父母に双子育児スキルやママの気持ちについてレクチャーしてくれる」といった【多胎妊婦や家族の多胎育児のイメージづくり】であった。

表 4-2-5-7 多胎妊婦や家族の多胎育児のイメージづくり

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	ママが退院する前や赤ちゃんが退院する前に双子育児のイメージが獲得できるよう体験を話したり相談に乗ったりする。家族も交えて話が聞けると良い。岐阜では退院時に多胎ネットに連絡がきて退院前に病院に訪問したりしている。入院中は月一回定期的に訪問している。	病院
	片方の子が入院していて、ママが母乳を運ぶ時に残った子を見ていてくれる。その間に、祖父母に双子育児スキルやママの気持ちについてレクチャーしてくれる。(祖父母が担当の子を決めてしまったり、育児に弊害が出るケースがあるので。嫁からは言いにくい、他人が言ってくると助かる。また、ママとおばあちゃんの軋轢を緩和することになる)	保育スキル 自宅

(8) 多胎児の父親になるための情報交換 (表 4-2-5-8)

『先輩パパ』への訪問型支援ニーズは、『多胎教室』や『飲み会』などの場を通じて、「先輩の子どもたちを先に見る」や、「生まれた時に休みがとりやすい制度」などの【多胎児の父親になるための情報交換】であった。

表 4-2-5-8 多胎児の父親になるための情報交換

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩パパ	先輩の子どもたちを先に見る	多胎教室
	情報交換	飲み会、 多胎の両親教室
	生まれた時に休みがとりやすい制度	両親学級
	育児休暇とプラスαの休みがとれる制度がほしい	

(9) 妊娠期からの継続した訪問型支援 (表 4-2-5-9)

『先輩ママ』や、『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「妊娠期からの訪問」「妊娠期からの接点を持ち育児期の訪問支援を行う」など、【妊娠期からの継続した訪問型支援】であった。

表 4-2-5-9 妊娠期からの継続した訪問型支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	妊娠期からの訪問(妊娠中からの接点を持っていると、訪問する方も入りやすい)	病院
ピアサポーター	妊娠期からの接点を持ち育児期の訪問支援を行う(妊娠期から先輩ママと顔なじみになっていると産後の訪問も行きやすい)	両親教室

6) その他(地域のボランティア、育児経験者など)

(1) 日常生活の支えや寄り添い (表 4-2-6-1)

『近所のおばちゃん』や、『誰でも』への訪問型支援ニーズは、「物理的な手伝いなんでも」や、「上の子を見ていてくれる。上の子の心理的フォロー。生活面のことを教えてくれる。家事を手伝ってくれる。公園に一緒に行ってくれたり、育児の手助けもしてくれる。困った時に助けてくれる。見守ってくれる。気持ちを受け止めてくれる」など、【日常生活の支えや寄り添い】であった。

表 4-2-6-1 日常生活の支えや寄り添い

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
近所のおばちゃん	物理的な手伝いなんでも	自宅
誰でも	上の子を見ていてくれる。上の子の心理的フォロー。生活面のことを教えてくれる。家事を手伝ってくれる。公園に一緒に行ってくれたり、育児の手助けもしてくれる。困った時に助けてくれる。見守ってくれる。気持ちを受け止めてくれる。ずっと支援してくれる。	自宅 SOS を出すと飛んできてくれる人

(2) NICU 入院中の母乳の運搬 (表 4-2-6-2)

『誰でも』良いので「母乳を運んで」や、『タクシーの運転手』には、「入院中の子どもの面会と母乳を届けに行くときの運転」や、「双子タクシー(入院している病院にとっさにいきたいとき)」など【NICU入院中の母乳の運搬】であった。

表 4-2-6-2 NICU入院中の母乳の運搬

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
誰でも	母乳を運んでくれる。(体調が悪くても母乳は届けたい。別時退院で1人が家にいて出られない。)	自宅~病院
タクシーの運転手	入院中の子どもの面会と母乳を届けに行くときの運転(出産直後に運転をするのは危険なのに、背に腹は代えられず運転する人がいる。無料タクシーチケットの交付でも良い。)	介護タクシーのような研修を受けた運転手さん
	双子タクシー(入院している病院にとっさにいきたいとき)	

### 3. 多胎児の退院後から4か月までの家庭訪問型支援ニーズ

多胎児の退院後から4か月まで家庭訪問型支援ニーズは、1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師では、【NICU 看護師による多胎児の健康状態を確認】。2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職では、【行政の保健師による多胎児の発育・発達の確認】【地域の助産師による乳房マッサージや授乳方法などの指導】【母親のこころの健康を保つケア】。3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーでは、【買い物の同行支援や家事・育児支援】【沐浴・お風呂などの育児サポート】【母親がレスパイトできるケア】。4) 地域の子育て支援者では、【産前産後サポーターによる訪問ケア】。5) 多胎ピアサポーター、多胎育児経験者、多胎サークルでは、【多胎育児に関する情報提供や育児サポート】【生活環境のアドバイスや家事サポート】【健診サポートや、子育て相談・多胎育児スキルの伝授】【多胎児の自宅の玄関から外出サポート】【多胎ママへの寄り添いや話し相手】。6) その他(地域のボランティア、育児経験者)では、【近所のママやおばちゃんによる沐浴やお風呂の手伝い】また、【業者による玄関先までの配達や、誰でも外出時のお手伝い】。7) 同行支援では、【保健師には多胎児の診察や母親の観察と、先輩ママには体験談や寄り添い】【助産師にはおっぱいケアと、ピアサポーターには育児スキルの指導】【保育士と先輩ママで託児または付き添い】であった。以下、各支援者別に求められる支援ニーズやスキルなどについて報告する。

#### 1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問型支援ニーズ

##### (1) NICU 看護師による【多胎児の健康状態を確認】(表 4-3-1-1)

子どもが NICU に入院していたことにより、「オキシパルメーターなどがなくなり、非常に不安だった」ということもあり、【多胎児の健康状態を確認】するために『NICU 看護師による訪問』を求めていた。

表 4-3-1-1 看護師による多胎児の健康状態の確認

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
看護師	子どもの健康状態の確認(NICU で授乳のときに付けていたオキシパルメーターなどがなくなり、非常に不安だった。退院後に健康なのか、脳に血液が流れているのかなどの検査をしてほしかった。)	NICU の看護師 自宅

#### 2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職への訪問型支援ニーズ

##### (1) 行政の保健師による多胎児の発育・発達の確認(表 4-3-2-1)

『行政の保健師』への訪問型支援ニーズは、家庭訪問し、多胎児の観察をし、順調に『発育・発達の確認』を希望していた、また、里帰りしている場合は実家への訪問であった。

表 4-3-2-1 多胎児の発育・発達の確認

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
行政の保健師	発育状態のチェック	自宅
	住んでる A 市じゃなくて、産んだのが B 市だったので、A 市のちゃんとした情報も入ってこない。保健師の訪問に関する情報提供	自宅
	赤ちゃんはちゃんと成長しているのかも、自分じゃなく他人にちゃんとみてもらって安心感を得たい。「間違えてないよ」って言われたい	
	順調に成長できているかの確認 2~3か月に一度、定期的に来てほしい。 贅沢を言えば、双子のお母さんの保健師。	実家
里帰り中の家庭(実家)訪問		

(2) 地域の助産師による乳房マッサージや授乳方法などの指導(表 4-3-2-2)

『地域の助産師』への訪問型支援ニーズは、退院後3か月位の母乳育児が安定する時期まで家庭訪問し、『乳房マッサージ』や多胎児の『授乳方法などの指導』であった。

表 4-3-2-2 乳房マッサージや授乳方法などの指導

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
地域の助産師	おっぱいマッサージ(母乳育児がすごくこの病院でも推奨されているんですけども、双子だとちょっとやり方とかわからなかったり)	マッサージしてくれる助産師
	おっぱいマッサージ、授乳方法のアドバイス(おっぱいで悩むが、助産院へ行ってマッサージを受ける時間がない)	自宅
	授乳指導、おっぱいケア、誰でもが受けられる訪問型の授乳指導(生後3か月のおっぱいが安定する時期までは、そうやって訪問でおっぱい指導をしてくれると、双子を連れていかなくてすむ)	

(3) 母親のこころの健康を保つケア (表 4-3-2-3)

『行政の保健師』や『心理カウンセラー』への訪問型支援ニーズは、「声かけ」や「メンタルヘルス」など、『母親のこころの健康を保つケア』であった。

表 4-3-2-3 母親のこころの健康を保つケア

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
行政の保健師	声かけ	自宅
心理カウンセラー	メンタルヘルスをしてくれる。	

3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーへの訪問型支援ニーズ

(1) 買い物の同行や家事・育児支援 (表 4-3-3-1)

『家事ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、『買い物に同行支援』や『家事・育児支援』などであった。

表 4-3-3-1 買い物の同行や家事・育児支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
家事ヘルパー (ヘルパー)	買い物に行く(私は8か月まで、1人では外出をしなかった。やっぱり、1人で全員(兄+三つ子)を連れて出るとはまず不可能だった)	外出サポート
	買い物に同行してほしい または 託児	外出サポート 託児支援
	家事をしてほしい(生活すべてのサポートを実父母に頼っていた)	自宅
	家事支援	
	家事と赤ちゃんのことを手伝ってほしい	
	夜、誰かに手伝ってほしい。ヘルパーさんにナイトケアに来てほしい	ナイトケア
自分が家事をしている間にふたごをみてほしい	自宅	

## (2) 沐浴・お風呂などの育児サポート（表 4-3-3-2）

『育児ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、「お風呂の手伝いや介助」など『沐浴・お風呂などの育児サポート』であった。

表 4-3-3-2 沐浴・お風呂などの育児サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
育児ヘルパー	お風呂の介助	
	お風呂に夜入れる際のお手伝い(泊まりでいくのではなく家にきてほしい)	ナイトケア
	お風呂に夜入れるお手伝い(しっかり立てるようになるまで、そこまでが一番大変だった)	
誰でも	お風呂や子どもの世話を一緒にしてほしい。	育児のための人手の確保

## (3) 母親がレスパイトできるケア（表 4-3-3-3）

『ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、「母親が睡眠確保できるための家事・育児支援」など、『母親がレスパイトできるケア』であった。

表 4-3-3-3 母親がレスパイトできるケア

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ヘルパー	母親の睡眠確保のための、家事・育児支援	睡眠確保
	家事・育児を一緒にやりましょう 母親が休める支援	ホームスタート
	お母さんが寝ていいためのお手伝いが欲しいですよね。だから、私たちが来てるときは、気を遣わないで寝ていいですよっていうようなヘルパーさんが来てくれると、ほんとありがたいかなと	手伝い

## 4) 地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズ

### (1) 産前産後サポーターによる訪問ケア（表 4-3-4-1）

『産前産後サポーター』への訪問型支援ニーズは、「市町村による違い(必要経費など)はあるが「早い段階からいける産褥ヘルパー制度」などの『訪問ケア』を希望し『ボランティア養成』が求められていた。

表 4-3-4-1 産前産後サポーターによる訪問ケア

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
産前産後サポーター	産前産後サポーター(ファミサポというのはどこにでもあるけど、金額も違うし、相手の家に一切いけない市町村もあるし、産前産後サポーターみたいな感じで、おうちに早い段階から行けるとこもあるので、ほかの産褥ヘルパー制度が久留米市は別にある)	ボランティア養成

## 5) 多胎ピアサポーター、多胎育児経験者、多胎サークルへの訪問型支援ニーズ

### (1) 多胎育児に関する情報提供や育児サポート（表 4-3-5-1）

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「多胎児特有の育児情報」や、「育児相談」、「育児のコツの伝授」などの、【多胎育児に関する情報提供や育児サポート】であった。

表 4-3-5-1 多胎育児に関する情報提供や育児サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	多胎児特有の育児情報	情報提供
	育児相談と共感(同じ多胎児を育てた母親に、共感やアドバイスを)	ピアサポート
	育児相談(まだ1人で出かけられないので、自宅に来てほしい。また、病気をもらいたくないので、子どもを家で確保しておきたい)	子の性別が同じ組み合わせの人
	育児のコツ、同時授乳の仕方やお風呂の入れ方など(上に1人いるので、育児自体はわかるけど、双子三つ子になると全然違う)	
	コツの伝授	
	沐浴の支援(1ヶ月、2ヶ月、うつ状態 誰ともしゃべれなくて、我が子がまだ2か月でしゃべれないし、お父さんは仕事が遅くて11時ぐらいまで帰ってこないし、しゃべりたいけどしゃべれないし、頭の中がパニックみたいな感じになってて。)	育児支援

(2) 生活環境のアドバイスや家事サポート(表 4-3-5-2)

『先輩ママ』や、『ピアサポーター他、誰でも』への訪問型支援ニーズは、「双子に関してはママのいるおうちにお手伝いに行ってもOK」など、【生活環境のアドバイスや家事サポート】であった。

表 4-3-5-2 生活環境のアドバイスや家事サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	双子に関してはママのいるおうちにお手伝いに行ってもOK(C市:値段も1人750円で、2人目からは半額)	ふぁみサポ-の現状 家事支援
経験者	生活環境のアドバイス	
ピアサポートでも 近所の人でもヘルパーでも	おかずを1品もってきてほしい	家事支援

(3) 健診サポートや、子育て相談・多胎育児スキルの伝授(表 4-3-5-3)

『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「健診や予防接種の介助をしながら、子育て相談に乗ったり、気持ちを受け止めてくれる。一緒に喜んでくれる。」や、「健診会場などに同行し、双子育児スキルや生活スキルを伝授してくれる。単胎用の説明を噛み砕いたり、体験を話したりしてくれる。など、『健診サポートや、子育て相談・多胎育児スキルの伝授』などであった。

表 4-3-5-3 健診サポートや、子育て相談・多胎育児スキルの伝授

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	健診や予防接種の介助をしながら、子育て相談に乗ったり、気持ちを受け止めてくれる。一緒に喜んでくれる。	健診会場や病院
	健診会場などに同行し、双子育児スキルや生活スキルを伝授してくれる。単胎用の説明を噛み砕いたり、体験を話したりしてくれる。	
	健診会場に介助がないと大変。小さく生まれたので遅れがある場合も体験が聞けると安心。また、双子の場合、問題の大きい方だけを見てしまい、片方の課題を見落とすことがある。そうしたことも経験者は気がつく。	
	健診サポート(1か月、半年、1歳半健診)、予防接種	

(4) 多胎児の自宅の玄関から外出サポート (表 4-3-5-4)

『先輩ママ』や、『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「出るときに一緒に来てくれる人」や、「にお迎えにきてもらって、付き添い、その準備」などの、『多胎児の自宅の玄関から外出サポート』であった。

表 4-3-5-4 多胎児の自宅の玄関から外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	出るときに一緒に来てくれる人(外に行くときに、病院に行くときに抱っこしてもらっただけでもいい)	自宅～外出先
	初めての外出を誰かがサポートしてくれることで第一歩が踏み出せる。引きこもりを防げる。	
ピアサポーター	家にお迎えにきてもらって、付き添い、その準備	

(5) 多胎ママへの寄り添いや話し相手 (表 4-3-5-5)

『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「退院した後にちょっと退院して3日後とか1週間後とか、ほんとに大丈夫そうなのかとかっていうのを見に行く」や「2人のあかちゃんの世話で何も考えられない状態で、“これでいいんだろうか”っていうのを悶々としながら頑張っている最中」なので『寄り添い』、『先輩ママ』には、『話し相手』になってほしい。

表 4-3-5-5 多胎ママへの寄り添いや話し相手

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	退院した後にちょっと退院して3日後とか1週間後とか、ほんとに大丈夫そうなのかとかっていうのを見に行く	ピアサポート 自宅
	話を聴いてほしい	
	2人のあかちゃんの世話で何も考えられない状態で、「これでいいんだろうか」っていうのを悶々としながら頑張っている最中	
先輩ママ	はなし相手(1 か月、2 か月、うつ状態 誰ともしゃべれなくて、我が子がまだ2か月でしゃべれないし、お父さんは仕事が遅くて11時ぐらいまで帰ってこないし、もうしゃべりたいけどしゃべれないし、なんか頭の中がパニック)	育児支援 自宅

6) その他(地域のボランティア、育児経験者)への訪問型支援ニーズ

(1) 沐浴やお風呂の介助 (表 4-3-6-1)

『近所のママやおばちゃん』への訪問型支援ニーズは、スキルなどなくても良いので「お風呂のときの手がほしい」など、『沐浴やお風呂の介助』であった。

表 4-3-6-1 沐浴やお風呂の介助

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
近所のママ 誰でも	お風呂のときの手がほしい(毎日のことなので誰でもいい。サポートしてくれたら。)	多胎児に関する知識 が無くても良い
隣近所(管理人のおばちゃん)	沐浴の介助	



(2) 業者による玄関先までの配達や、誰でも外出時のお手伝い (表 4-3-6-2)

『業者』には、「コープの宅配」などの『玄関先までの配達』や、『誰でも』には、「外出時の手助け。クルマの乗り降り、階段」、『実母のような人』には、「子どもをちょっと見ていてくれて眠れる。育児や家事を手伝ってくれる」などのレスパイトするためのケアであった。

表 4-3-6-2 誰でも玄関先までの配達や、外出時のお手伝い

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
業者	玄関先までの配達	コープの宅配
誰でも	外出時の手助け。クルマの乗り降り、階段	外出時
実母のような人	子どもをちょっと見ていてくれて眠れる。育児や家事を手伝ってくれる。生活スキル(ここで昼寝したらいい等)を教えてくれる。	今後もずっと継続的に

7) 同行訪問 (専門職と当事者が一緒に訪問する) への訪問型支援ニーズ

(1) 保健師には多胎児の診察や母親の観察と、先輩ママには体験談や寄り添い (表 4-3-7-1)

専門職と当事者が一緒に訪問する同行訪問での『保健師+先輩ママ、ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「専門職(保健師)は子どもの診察や母親の観察」と、「先輩ママには双子の経験談」や、「育児の心配もあり、先輩ママに聞きたい」など【保健師には多胎児の診察や母親の観察と、先輩ママには体験談や寄り添い】であった。

表 4-3-7-1 保健師には多胎児の発育や健康観察と、先輩ママには、体験談や寄り添い

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保健師+先輩ママ または ピアサポーター	同行訪問。ピアには、その時期の様子や状況、を聞かせてほしい(発達の心配だけではなく、育児の心配もあり、先輩ママに聞きたい。保健師と一緒に来てくれると心強い。)	自宅
	専門職(保健師)は子どもの診察や母親の観察、ピアは双子の経験談	
	多胎児特有の育児情報(保健師さんたちもみんながみんな教育行き届かれてるわけではないので、ちょっとこれ双子で言われるとつらいよなとかいうこと、受けた人が思っても言えないんですよね。そのときのお母さんって。でも、そのときに、先輩ママがいると、「いや、保健師さん、ちょっとこれは双子はちょっとこれきついんですよね」)	ピアサポート研修受講者
	多胎児に特化した支援	
	家庭訪問	
	専門職は体重測定し、ピアママは双子育児情報	専門職 ピア研修
健康的な、体のことはすごく言ってもらって、心臓に欠陥とかもあったので、これから先どうなっていくか、どのような処置をしているのか、具体的に聞けてよかった	ピアサポート研修受講者	
専門職と ピアサポーター	ピアサポーター: 赤ちゃん訪問として退院後 1~2 週間という早期から何度も継続的に訪問し、同時授乳や生活スキル、双子の育児スキル、双子育児などについての気持ちの寄り添いについて 専門職: おっぱいケアや赤ちゃんの成長発達など専門的な ことについて 別時退院の時は、1 人目の退院の後と 2 人目の退院の後、2 回訪問する。できれば、ママが退院後も含めて 3 回訪問できると良い。 これを日本中どこでも必ずやるよう制度化する	

(2) 助産師にはおっぱいケアと、ピアサポーターには育児スキルの指導 (表 4-3-7-2)

同行訪問した『助産師』への訪問型支援ニーズは、「授乳指導やおっぱいマッサージ」など、『ピアサポーター』には、「授乳は退院したその日から困るから。生活の中での授乳のやり方を教えてほしい。なにが分からないかがわかった頃に“手も足も使う”“家にあるものを工夫して使う”というような『育児スキル』の指導であった。

表 4-3-7-2 助産師にはおっぱいケアと、ピアサポーターには育児スキルの指導

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
助産師と ピアサポーター	授乳指導、おっぱいマッサージ、赤ちゃんの成長発達のチェック、授乳のやり方の相談。退院してきて1~2週間のうちに訪問。(授乳は退院したその日から困るから。生活の中での授乳のやり方を教えてほしい。なにが分からないかがわかった頃に「手も足も使う」「家にあるものを工夫して使う」というような育児スキルを教えてほしい。また、入院中に乳房の手入れをしていないので、助産師さんにおっぱいケアに来て欲しい。家に帰ってすぐに来て具体的に教えて欲しい。母乳が出なかったり体が辛かったりして母乳育児を断念するのは仕方ないけど、やり方がわからないから断念というのは残念。)	ピアサポート研修 受講者

(3) 保育士と先輩ママで託児または付き添い (表 4-3-7-3)

同行訪問した『保育士と先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「上の子の学校行事など連れて行けない場合もあるため」共同し『託児または付き添い』を行う。

表 4-3-7-3 保育士と先輩ママで託児または付き添い

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保育士または先輩 ママ	託児または付き添い(上の子の学校行事など連れて行けない場合もある)	託児

#### 4. 4か月以降1歳未満までの家庭訪問型支援ニーズ

4か月以降1歳未満までの家庭訪問型支援ニーズは、1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師では、【自宅での多胎児の健康診査】であり、2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職では、【多胎児の発育・発達に応じた離乳食指導】【4か月以降の多胎児の健康診査】【サークルへの外出サポート】【授乳指導やおっぱいのケア】【精神的な健康状態の確認とカウンセリング】であった。3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーでは、【買い物の代行や家事・育児支援】【病院への受診サポート】であった。4) 地域の子育て支援者には、【母親がレスパイトできる訪問ケア】【家庭での遊びを提案できる訪問ケア】【子育て講座の開催】であった。5) 多胎ピアサポーター、多胎育児経験者、多胎サークルでは、【誰か一緒に居て傾聴・相談・助言】【お風呂の介助や家事支援】【離乳食に関するアドバイス】【多胎児の母親が自立できるための外出や健診サポート】【予防接種や通院時、多胎サークルへの外出サポート】【子育て教室でのピアサポート】【多胎児の父親の会と成長した多胎児のイメージ】であった。6) その他(地域のボランティア、育児経験者)では、【地域での外出サポート】【業者による送迎サービス】であった。以下、支援者別の支援ニーズについて報告する。

## 1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問型支援ニーズ

### (1) 自宅での多胎児の健康診査 (表 4-4-1-1)

病院の『医師』や『保健師』への訪問型支援ニーズは、「健診などは自宅に訪問してもらいたい」と、【自宅での多胎児の健康診査】であった。

表 4-4-1-1 自宅での多胎児の健康診査

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
医師、保健師	健康診査(健診などは自宅に訪問してもらいたい)	自宅

## 2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職への訪問型支援ニーズ

### (1) 多胎児の発育・発達に応じた離乳食指導 (表 4-4-2-1)

『行政の保健師や栄養士』への訪問型支援ニーズは、「離乳食の進め方、作り方など、家庭環境にあった育児相談」や、「子どもの発達にあった離乳食相談」など、【多胎児の発育・発達に応じた離乳食指導】であった。

表 4-4-2-1 多胎児の発育・発達に応じた離乳食指導

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保健師と栄養士	離乳食の進め方、作り方など、家庭環境にあった育児相談(育児本などで、他のうちができていないことができないつらさがある)	離乳食相談
	修正月齢に合わせた離乳食の進め方(修正月齢の使い方がわからず不安だった)	多胎の事を知っていてくれる人
	子どもの発達にあった離乳食相談。節目に、気軽に予約できるもの。(2回食にすべきかどうかなどを悩んでいるときに。自分1人で2人を連れていくことが難しい)	

### (2) 4か月以降の多胎児の健康診査 (表 4-4-2-2)

『行政の保健師』への訪問型支援ニーズは、「4か月からの健診の合間の訪問(授乳が、混合とか母乳で、すごい発達が著しい時期なので)」など、【4か月以降の多胎児の健康診査】であった。

表 4-4-2-2 4か月以降の多胎児の健康診査

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保健師	4か月からの健診の合間の訪問(授乳が、混合とか母乳で、すごい発達が著しい時期なので)	家庭訪問
保健師 医師	健診などは自宅に訪問してもらいたい	自宅

### (3) サークルへの外出サポート (表 4-4-2-3)

『行政の保健師』への訪問型支援ニーズは、「サークルに誘う(一緒に連れて行ってもらえたら嬉しい)などの【サークルへの外出サポート】であった。

表 4-4-2-3 サークルへの外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保健師	サークルに誘う(一緒に連れて行ってもらえたら嬉しい)	専門職の助言

#### (4) 授乳指導やおっぱいのケア (表 4-4-2-4)

『地域の助産師』への訪問型支援ニーズは、「母乳指導 授乳方法があっているか見てほしい」や、「赤ちゃん訪問(おっぱいのケア)」などを「先輩ママと同行訪問」による、【授乳指導やおっぱいのケア】であった。

表 4-4-2-4 授乳指導やおっぱいのケア

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
助産師	母乳指導 授乳方法があっているか見てほしい	
	赤ちゃん訪問(おっぱいのケア)	先輩ママの同行訪問

#### (5) 精神的な健康状態の確認とカウンセリング (表 4-4-2-5)

『心理カウンセラー』への訪問型支援ニーズは、「どんな 相手と気持ちを伝え合えていなかったり、いつもイライラしていたり、夫婦の会話がなかったりといった時の相談」などの【精神的な健康状態の確認とカウンセリング】であった。

表 4-4-2-5 精神的な健康状態の確認とカウンセリング

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
心理カウンセラー	相手と気持ちを伝え合えていなかったり、いつもイライラしていたり、夫婦の会話がなかったりといった時の相談。	

### 3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーへの訪問型支援ニーズ

#### (1) 買い物の代行や家事・育児支援 (表 4-4-3-1)

『家事ヘルパー』や、『育児ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、「家事が困難、筋力が衰えているとか、そういう困難なとき」や、「代わりに買い物 買い物ヘルパー(ほっとする。なんかいていただいたら、“あ、これであと、大丈夫”って)」、また、「家事・育児の手伝い(動き始めて目が離せなくなる。里帰りから帰ってきて、1人になった時期で不安)」などの【買い物の代行や家事・育児支援】であった。

表 4-4-3-1 買い物の代行や家事・育児支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
家事ヘルパー	家庭訪問(家事が困難、筋力が衰えているとか、そういう困難なとき)	多胎の支援、育児に特化した、理解を示してくれる方
	私が子どもをみたい、子どもと遊びたい(遊ぶ時間がほしい)	家事支援
	代わりに買い物 買い物ヘルパー(ほっとする。なんかいていただいたら、“あ、これであと、大丈夫”って)	買い物代行
育児ヘルパー、	家事・育児の手伝い(動き始めて目が離せなくなる。里帰りから帰ってきて、1人になった時期で不安)	家事・育児支援

#### (2) 病院への受診サポート (表 4-4-3-2)

『育児ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、「病院への同行(ベビーシッターじゃなくて、遠いおばあちゃんよ

り近くのおばあちゃん的な人」と、【病院への受診サポート】であった。また、有料支援の場合があり『有料1人1時間 800 円、2人だと 1,600 円』の例が示された。

表 4-4-3-2 病院への受診サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
育児ヘルパー	病院への同行(ベビーシッターじゃなくて、遠いおばあちゃんより近くのおばあちゃん的な人)	有料1人1時間 800 円 2人だと 1,600 円、

#### 4) 地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズ

##### (1) 母親がレスパイトできる訪問ケア (表 4-4-4-1)

『支援センターのスタッフ』への訪問型支援ニーズは、「ママの睡眠不足を補う(ママの睡眠不足を補うために、子どもが慣れている支援センターのスタッフに自宅にきてもらって、子どもの相手をしている間に眠りたい)」などの【母親がレスパイトできる訪問ケア】が求められていた。

表 4-4-4-1 母親がレスパイトできる訪問ケア

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
支援センターのスタッフ	ママの睡眠不足を補う(子どもが慣れている支援センターのスタッフに自宅にきてもらって、子どもの相手をしている間に眠りたい)	自宅 育児サポート

##### (2) 家庭での遊びを提案できる訪問ケア(表 4-4-4-2)

『遊びのリーダー』への訪問型支援ニーズは、「その家でママと子どもたちができる遊びを具体的に提案」と、【家庭での遊びを提案できる訪問ケア】が求められていた。

表 4-4-4-2 家庭での遊びを提案できる訪問ケア

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
遊びリーダー	その家でママと子どもたちができる遊びを具体的に提案。	自宅

##### (3) 子育て講座の開催 (表 4-4-4-3)

『多胎育児についてよくわかっている講師』への訪問型支援ニーズは、「(集団へのアウトリーチ支援)子育て講座、悩みや話したいことを出し合い、共有し、自分たちで着地点を見つけ学び合えるような講座の提供」と、【子育て講座の開催】が求められていた。

表 4-4-4-3 子育て講座の開催

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
多胎育児についてよくわかっている講師	(集団へのアウトリーチ支援)子育て講座、悩みや話したいことを出し合い、共有し、自分たちで着地点を見つけ学び合えるような講座の提供	公共施設など

## 5) 多胎ピアサポーター、多胎育児経験者、多胎サークルへの訪問型支援ニーズ

### (1) 誰か一緒に居て傾聴・相談・助言 (表 4-4-5-1)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「家に誰かいてほしい(家の中ですごく動きが活発になってくる時期聞いてもらいたい)」や、「ただの素人なので、いろいろ聞ける立場がいいかな」など、【誰か一緒に居て傾聴・相談・助言】が求められていた。『家庭訪問』や、『受診サポート』の場で、『自分の経験だけじゃなくて多様な事例を知っている人』ということであった。

表 4-4-5-1 誰か一緒に居て傾聴・相談・助言

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	家に誰かいてほしい (家の中ですごく動きが活発になってくる時期 聞いてもらいたい)	家庭訪問・傾聴
	ただの素人なので、いろいろ聞ける立場がいいかな	自分の経験だけじゃなくて多様な事例を知っている人
	ちょっとした相談に乗れる(先輩ママのならではの強み)	自宅
	傾聴	
	待ってる間にちょっとアドバイス(1人ひとり担当すればいい状態にしてもらえるとありがたい)	病院への付き添い

### (2) お風呂の介助や家事支援 (表 4-4-5-2)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「お風呂の介助だけでも来てほしい」など、【お風呂の介助や家事支援】が求められていた。

表 4-4-5-2 育児・家事支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	お風呂の介助だけでも来てほしい	自宅
	家事支援	

### (3) 離乳食に関するアドバイス (表 4-4-5-3)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「離乳食のアドバイス」や、「2人の離乳食の差について」など、【離乳食に関するアドバイス】が求められていた。

表 4-4-5-3 離乳食に関するアドバイス

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	離乳食のアドバイス	家庭またはサークル
	2人の離乳食の差について(2人に差があると悩む)	自宅

### (4) 多胎児の母親が自立できるための外出や健診サポート (表 4-4-5-4)

『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「お出かけの工夫やコツを教えてくださいながらお出かけのサポートをしてくれる。自立支援。自分でできる方法を一緒に考えながらサポートしてくれる。お出かけ支援」や、「健

診会場で時間がかかるのでその間に話」など、【多胎児の母親が自立できるための外出や健診サポート】が求められていた。

表 4-4-5-4 多胎児の母親が自立できるための外出や健診サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	お出かけの工夫やコツを教えてもらいながらお出かけのサポートをしてくれる。ただのお手伝いさんではなく、自立支援。自分でできる方法を一緒に考えながらサポートしてくれる。お出かけ支援。「ここでこんな風に声をかけたら手伝ってもらえるよ」ということを教えてくれる。	自宅から多胎サークルや集いの場へ外出サポート
	外出の付添と愚痴を聞いてほしい	
	必要なときいつでも頼める外出支援	
	健診会場で時間がかかるのでその間に話し(健診で発達のこととかを言われることがあるので、そこでやっぱり寄り添って、経験者としてお話を一緒にできるというのが大事)	研修を受けたピア
	健診サポート、予防接種	研修を受けたひと
先輩ママ	家で元気な子のそばにいてくれる二人の対応を分かっているから	病院受診 外出サポート

#### (5) 予防接種や通院時、多胎サークルへの外出サポート (表 4-4-5-5)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「予防接種 通院 車の送迎(家まで来て一緒に行ってくれると助かる)」や、「最初の多胎サークルに付き添う」など、【予防接種や通院時、多胎サークルへの外出サポート】が求められていた。

表 4-4-5-5 予防接種や通院時、多胎サークルへの外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	出かけたけど車がない(公共交通手段がない、)	外出支援
	予防接種 通院 車の送迎(家まで来て一緒に行ってくれると助かる)	家から外出先
	最初の多胎サークルに付き添う(誘ってくれる人が欲しい)	多胎サークル

#### (6) 子育て教室でのピアサポート (表 4-4-5-6)

『ピアサポーター』には、「子育て教室、悩みや話したいことを出し合い、テーマに沿ってグルーptークをする中で、気持ちを共有したり、双子育児の工夫を学びあったり、ママやパパを取り巻く人間関係を見直したりする」などの『公共施設など、子育て支援拠点でのふたごのつどい(集団へのアウトリーチ支援)』への参加など【子育て教室でのピアサポート活動】が求められていた。

表 4-4-5-6 子育て教室でのピアサポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	子育て教室、悩みや話したいことを出し合い、テーマに沿ってグルーptークをする中で、気持ちを共有したり、双子育児の工夫を学びあったり、ママやパパを取り巻く人間関係を見直したりする。子育て仲間を獲得したり先輩ママに相談もできる。	公共施設など、子育て支援拠点でのふたごのつどい(集団へのアウトリーチ支援)

(7) 多胎児の父親の会と成長した多胎児のイメージ (表 4-4-5-7)

『先輩パパ』には、「夫の会、多胎児パパとのつながり」「先輩パパたちの子どもをみる」など、【多胎児の父親の会と成長した多胎児のイメージ】であった。

表 4-4-5-7 多胎児の父親の会と成長した多胎児のイメージ

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩パパ	夫の会、多胎児パパとのつながり、 先輩パパたちの子どもをみる	サークル

6) その他(地域のボランティア、育児経験者)への訪問型支援ニーズ

(1) 地域での外出サポート (表 4-4-6-1)

近所のおばあちゃんみたいな『育児経験者』への訪問型支援ニーズは、「公園同行」や、「子どもをみてもらう」など、また、「必要ときいつでも頼める」『育児ボランティア』にも、【地域での外出サポート】が求められていた。

表 4-4-6-1 近所での外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
育児経験者	おばあちゃんみたいな人が公園同行してくれて、見守ってくれる。	公園 外出サポート
	近所のおばさん顔見知りな人、病気でない子どもを見てくれる(信頼がおける人)	自宅
育児ボランティア	必要ときいつでも頼める外出支援	ボランティア研修受けた人
近所の人	薬局に薬をもらいに行ってくれる(有料、町内であった)	自宅⇒薬局
身内、誰でも	健診や予防接種	外出サポート

(2) 業者による送迎サービス (表 4-4-6-2)

『業者やタクシー運転手』への訪問型支援ニーズは、「送迎サービス」や、「病院や自宅などの子どもの移動、受け渡し」など、【業者による送迎サービス】が求められていた。また、「タクシー券とかプロの人」を求めるが、「多胎に特化する制度である必要はない」というものであった。

表 4-4-6-2 業者による送迎サービス

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
業者(タクシー運転手)	送迎サービス(プロなので安心)	訓練を受けたドライバー
	病院や自宅などの子どもの移動、受け渡し	病院や家
業者	タクシー券とかプロの人 多胎に特化する制度である必要はない	

5. 1歳代の家庭訪問型支援ニーズ

1歳代の多胎育児家庭の求める訪問型支援ニーズについては、1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護



師への訪問型支援ニーズはなかった。2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職では、【多胎児の発達差に対する保健師のアドバイス】、3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーでは、【母親が一人で外出するための託児および外出サポート】【公園への外出サポート】【受診および健診サポート】【無料または有料での育児サポート】であった。4) 地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズはなかった。5) 多胎ピアサポーター、多胎の先輩ママ・パパでは、【受診や健診サポート、外出サポート】【孤立した母親への寄り添い】【多胎児の母親を対象とした育児教室】【多胎家庭での家事支援や子連れ訪問】【多胎育児に関する情報提供】であった。6) その他(地域のボランティア、育児経験者など)では、【外出時や在宅での支えや見守り】【多胎児を同行できない場合の育児支援】【地域や行政に求める多胎支援】、7) 同行訪問では、【籠っている母親への専門職と先輩ママの同行訪問】であった。以下、支援者別に支援ニーズについて報告する。

### 1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問型支援ニーズ

出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問型支援ニーズはなかった。

### 2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などへの訪問型支援ニーズ

#### (1) 多胎児の発達差に対する保健師のアドバイス(表 4-5-2-1)

『保健師』への訪問型支援ニーズは、「保健師の相談窓口が自宅にきてくれる(離乳食だったり、栄養のバランスだったり、未熟児で生まれた子どもの成長具合が不安な時期でもある。1人は歩いているけど、1人はなかなか歩かないとか、そういう時期。専門家のアドバイスがほしい。相談したいけれど行かれない。家でゆっくり話したい)」と、【多胎児の発達差に対する保健師のアドバイス】であった。

表 4-5-2-1 多胎児の発達差に対する保健師のアドバイス

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保健師	保健師の相談窓口が自宅にきてくれる(離乳食だったり、栄養のバランスだったり、未熟児で生まれた子どもの成長具合が不安な時期でもある。1人は歩いているけど、1人はなかなか歩かないとか、そういう時期。専門家のアドバイスがほしい。相談したいけれど行かれない。家でゆっくり話したい)	家庭

### 3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーへの訪問型支援ニーズ

#### (1) 母親が一人で外出するための託児および外出サポート(表 4-5-3-1)

『ベビーシッター』や『ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、「母親が外出する間の子の見守り(髪を切ったり、買い物をしたい)」や「双子を自宅でみてくれて、自分一人で外出できるような」、【母親が一人で外出するための託児および外出サポート】であった。

表 4-5-3-1 母親が一人で外出するための託児および外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ベビーシッター	母親が外出する間の子の見守り(髪を切ったり、買い物をしたい)	自宅 託児
ヘルパー	双子を自宅でみてくれて、自分一人で外出できるような	自宅 託児
	託児または同行(自分1人でちょっと買い物、例えばお母さんが服を買いたいとかのときは、もちろん1人で行きたい)	自宅 託児または同行

(2) 公園への外出サポート(表 4-5-3-2)

『ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、「外遊びで公園に行くとき同行してほしい(遊ばせたいけどなかなかいけない)」や、「二人で来てほしい。1 対1つける人数(歩きがぎこちないし、危なっかしいので)」といった【公園への外出サポート】であった。

表 4-5-3-2 公園への外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ヘルパー	外遊びで公園に行くとき同行してほしい(遊ばせたいけどなかなかいけない)	近所の公園 外出サポート
	二人で来てほしい。1 対1つける人数(歩きがぎこちないし、危なっかしいので)	外出サポート

(3) 受診および健診サポート(表 4-5-3-3)

『育児ヘルパー』や、『ベビーシッター』への訪問支援ニーズは、「健診や病気のときの通院に一緒に来てほしい(2人ずっと泣いている状態で誰も助けてくれないので)」や、「病気、病院等の受診の付添(2人同時の病気で、1人では連れて行けない。1歳代の2人が病気をしている状況はきつい)」といった【受診および健診サポート】であった。

表 4-5-3-3 受診および健診サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
育児ヘルパー	健診や病気のときの通院に一緒に来てほしい(2人ずっと泣いている状態で誰も助けてくれないので)	健診サポート
ベビーシッター	病気、病院等の受診の付添(2人同時の病気で、1人では連れて行けない。1歳代の2人が病気をしている状況はきつい)	病院等 受診の付き添い

(4) 無料または有料での育児サポート(表 4-5-3-4)

『ヘルパー』や、『ベビーシッター』への訪問型支援ニーズは、「上の子のサポート(お金を払わずにできる制度があればいい)」や、「無料(ただでさえおむつ代やミルク代にすごいお金がかかっているのに、わざわざお金を出してまで助けてもらうというのはほとんどない)」といったものや、「有料(無料ボランティアでは、誰が責任をとるのかと思う。お金を払ってでも、知識を持った人にみてもらいたい)」といった【無料または有料での育児サポート】であった。

表 4-5-3-4 無料または有料での育児サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ヘルパー	上の子のサポート(お金を払わずにできる制度があればいい)	自宅
ベビーシッター	無料(ただでさえおむつ代やミルク代にすごいお金がかかっているのに、わざわざお金を出してまで助けてもらうというのはほとんどない)	無料
ベビーシッター	有料(無料ボランティアでは、誰が責任をとるのかと思う。お金を払ってでも、知識を持った人にみてもらいたい)	研修を受けた人。たとえば幼児安全支援員など 双子の大変さを理解してくれる人。傾聴。 一般的な子育て支援研修を受けた人。

#### 4) 地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズ

地域の子育て支援者への訪問支援ニーズはなかった。

#### 5) 多胎ピアサポーター、多胎の先輩ママ・パパへの訪問型支援ニーズ

##### (1) 受診や健診サポート、外出サポート(表 4-5-5-1)

『先輩ママ』や、『ピアサポーター』への訪問支援ニーズは、「健診や病院(健診とかそういういろんなところで会って、外出する方法とかを一緒に考える。)」や、「一緒に遊びに行く、散歩に行く、見守ってくれる」など、【受診や健診サポート、外出サポート】であった。

表 4-5-5-1 受診や健診サポート、外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	健診や病院(健診とかそういういろんなところで会って、外出する方法とかを一緒に考える。)	受診・健診サポート
	託児または付き添い(上の子の学校行事など連れて行けない場合もある)	託児または外出サポート
	一緒に遊びに行く、散歩に行く、見守ってくれる	外出サポート
ピアサポーター	外出支援	外出サポート

##### (2) 孤立した母親への寄り添い(表 4-5-5-2)

『先輩ママ』や、『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「ママのイライラがちょうど始まってくる時期なので話を聞いてほしい」、「この時期が一番双子ママと話したかった。3人で本当に孤立していて、おとなと話がしたい」といった【孤立した母親への寄り添い】であった。

表 4-5-5-2 孤立した母親への寄り添い

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	ママのイライラがちょうど始まってくる時期なので話を聞いてほしい	自宅
ピアサポーター	この時期が一番双子ママと話したかった。3人で本当に孤立していて、おとなと話がしたい。	
	家庭訪問	

##### (3) 多胎児の母親を対象とした育児教室(表 4-5-5-3)

『ピアサポーター』への訪問支援ニーズは、「育児教室、子どもとの関わり方や遊び方を学び合う。(外出困難により社会性の発達が遅れがちになるため)」などを目的とした【多胎児の母親を対象とした育児教室】であった。

表 4-5-5-3 多胎児の母親を対象とした育児教室

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	育児教室、子どもとの関わり方や遊び方を学び合う。(外出困難により社会性の発達が遅れがちになるため。)	公共施設など (集団へのアウトリーチ支援)

(4) 多胎家庭での家事支援や子連れ訪問(表 4-5-5-4)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「双子に関してはママのいるおうちにお手伝いに行ってもOK」や、「大きくなっても家庭で遊んでもらえる(お母さんのリフレッシュ 子ども同士が遊ぶとすごく楽)」といった【多胎家庭での家事支援や子連れ訪問】であった。

表 4-5-5-4 多胎家庭での家事支援や子連れ訪問

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	双子に関してはママのいるおうちにお手伝いに行ってもOK	育児・家事支援
先輩ママ母子	大きくなっても家庭で遊んでもらえる(お母さんのリフレッシュ 子ども同士が遊ぶとすごく楽)	自宅 子連れ訪問

(5) 多胎育児に関する情報提供(表 4-5-5-5)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「多胎児特有の育児情報」といった【多胎育児に関する情報提供】であった。

表 4-5-5-5 多胎育児に関する情報提供

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	多胎児特有の育児情報	情報提供

(6) 多胎育児に関する情報提供(表 4-5-5-6)

『先輩パパ』への訪問型支援ニーズは、「飲み会 情報交換(ママのストレスに付き合うパパとかで、パパのストレスもだんだん増えてくる。「3歳までは病気と思って、奥さんのやりたいようにやらせてやってください」[お母さんも含めて愛してやってください]とか言ってるけど、言われてるパパはけっこう大変みたいで、家では言えない)」といった【多胎パパへの情報提供】であった。

表 4-5-5-6 多胎パパへの情報提供

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩パパ	飲み会 情報交換(ママのストレスに付き合うパパとかで、パパのストレスもだんだん増えてくる。“3歳までは病気と思って、奥さんのやりたいようにやらせてやってください”“[お母さんも含めて愛してやってください]”とか、言われているがパパはけっこう大変みたいで、家では言えない)	飲み会 サークル

6) その他(地域のボランティア、育児経験者など)への訪問型支援ニーズ

(1) 外出時や在宅での支えや見守り(表 4-5-6-1)

『近所のママ』や、『顔見知りの人』や『育児ボランティア』への訪問型支援ニーズは、「一緒に遊びに行く、散歩に行く、見守ってくれる」や、「家に来て遊んでもらう、外出時の手伝い(二人つれての外に出るのが、ちょっとしんどい、不安なので)」など、また、『近所のおばちゃん』には「物理的な手伝い 何でも(近所にふたごがいることを知ってもらえる。)」物理的な手伝い 何でも(“あの家、よく泣いてるけど双子がいるからね”っていうのも、言ってもらえると、ほかの人にも伝えてもらえる)など【日常生活の支えや寄り添い】であった。

表 4-5-6-1 外出時や在宅での支えや見守り

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
近所のママ	一緒に遊びに行く、散歩に行く、見守ってくれる	同行
顔見の人	家に来て遊んでもらう 外出時の手伝い(二人つれての外に出るのが、ちょっとしんどい、不安なので)	外出時 家
育児ボランティア	外出支援	同行
近所のおばちゃん	物理的な手伝い 何でも(近所にふたごがいることを知ってもらえる。)	自宅
	物理的な手伝い 何でも(「あの家、よく泣いてるけど双子がいるからね」っていうのも、言ってもらえると、ほかの人にも伝えてもらえる)	自宅
	マンション内での手伝い 声かけ(若い人が多くて、扉1つで別世界みたいなども多いから。ドア1つ開けて、なかなか外に出られない)	自宅

(2) 多胎児を同行できない場合の育児支援(表 4-5-6-2 )

『保育士』への訪問型支援ニーズは、「託児または付き添い(上の子の学校行事など連れて行けない場合もある)」など、【多胎児を同行できない場合の育児支援】であった。

表 4-5-6-2 多胎児を同行できない場合の育児支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
保育士	託児または付き添い(上の子の学校行事など連れて行けない場合もある)	自宅

(3) 地域や行政に求める多胎支援(表 4-5-6-3)

『運転手』『役所の人』『民生委員・児童民生委員』など地域の人々への訪問支援ニーズは、「双子タクシー」や、「公的な書類作成時、(いちいち窓口に行くのが大変 電話一本で来てくれる)」など、【地域や行政に求める多胎支援】であった。

表 4-5-6-3 地域や行政に求める多胎支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
運転手	双子タクシー(パパが急に帰ってこれなくてとっさに行きたいとき)	介護タクシーのような研修を受けた運転手さん
役所の人	公的な書類作成時、(いちいち窓口に行くのが大変 電話一本で来てくれる)	自宅
民生委員、児童民生委員	地域に誰が来たかっていうのを知るのは、児童民生員の方が市から把握。県外から来たひとに対して、そこからまた行政につながる	自宅

7) 同行訪問(専門職と当事者が一緒に訪問する)への訪問型支援ニーズ

(1) 籠っている母親への専門職と先輩ママの同行訪問(表 4-5-7-1)

『専門職と先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「家に籠っている人のところに訪問しアドバイする(1歳半だと遅い)」といった【籠っている母親への専門職と先輩ママの同行訪問】であった。

表 4-5-7-1 籠っている母親への専門職と先輩ママの同行訪問

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
専門職と先輩ママ	家に籠っている人のところに訪問しアドバイする(1歳半だと遅い)	籠っている人の家

## 6. 2～3歳代の家庭訪問型支援ニーズ

2～3歳代までの家庭訪問型支援ニーズは、1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問支援ニーズはなかった。2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職 では、【多胎児の発達や育児に関する専門職との相談】、3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーでは、【買い物や公園への外出サポート】【母親が兄姉を見るために多胎児の保育】【掃除などの家事支援】、4) 地域の子育て支援者では、【ホームスタートとしての育児支援】5) 多胎ピアサポーター、多胎の先輩ママ・パパでは、【トイレトレーニングなどしつけ相談】【虐待が多くなる時期の個別相談】【多胎児の成長に伴う育児相談】【イヤイヤ期の多胎児の母親への外出支援】であった。6) その他(地域のボランティア、育児経験者など)への訪問支援ニーズはなかった。7) 同行訪問では、【専門職と先輩ママの同行訪問による情報提供】であった。以下、支援者別の支援ニーズについて報告する。

### 1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問型支援ニーズ

出産病院の医師、保健師、助産師、看護師では支援ニーズはなかった。

### 2) 地域行政などの保健師、助産師、栄養士などの専門職への訪問型支援ニーズ

#### (1) 多胎児の発達や育児に関する専門職との相談(表 4-6-2-1)

『保健師』や、『保育士』などの『専門職』への訪問型支援ニーズは、「言葉の問題、お箸が使えない、歩き方など(行動範囲が広がってくるにつれて悩みが出てくるので、専門の方にみてもらいたい。)」や、「食事の進め方、作り方など、家庭環境にあった育児相談」、「子どもへの声掛けの仕方や、育児に対しての不安の相談」など、【多胎児の発達や育児に関する専門職との相談】であった。

表 4-6-2-1 多胎児の発達や育児に関する専門職との相談

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
専門職	言葉の問題、お箸が使えない、歩き方など(行動範囲が広がってくるにつれて悩みが出てくるので、専門の方にみてもらいたい。 1歳半健診から3歳健診までがあくが、発達のことなどが気になるので訪問できてもらえたらいい。3歳児健診で言われるよりも、早期発見してくれるとうれしい。)	発達相談
栄養士・保健師	食事の進め方、作り方など、家庭環境にあった育児相談(育児本などで、「他のうちができていないこと」ができないつらさがある)	栄養相談
保育士等集団 育児に従事した人	子どもへの声掛けの仕方や、育児に対しての不安の相談(2人と向き合う中での悩みや不安に対するアドバイスがもらいたい。 隔離された世界ではなく、「そんなのたいしたことじゃない」というようなことを言ってほしい。)	育児相談
	しつけ相談(その時々状況や年齢にあったしつけの仕方を教えてほしい。双子のやんちゃさは、双子の親でないとわからない)	さらに、双子を理解している人

### 3) 家事ヘルパー・育児ヘルパーへの訪問型支援ニーズ

#### (1) 買い物や公園への外出サポート(表 4-6-3-1)

『ヘルパー』への訪問型支援ニーズは、「買い物に同行(大きくなってからの買い物に行くときに双子も連れて行きたい)」や「買い物に同行(私は買い物に自分で見て、外で買い物がしたいから)」また、「外遊びで公園に行くとき同行してほしい(遊ばせたいけどなかなかいけない)」などの【買い物や公園への外出サポート】であった。

表 4-6-3-1 買い物や公園への外出サポート

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ヘルパー	買い物に同行(大きくなってからの買い物に行くときに双子も連れて行きたい)	自宅から買い物
	買い物に同行(私は買い物に自分で見て、外で買い物がしたいから)	外出サポート
	託児または同行(自分1人でちょっと買い物が、例えばお母さんが服を買いたいとかのときは、もちろん1人で行きたい)	自宅 または買い物 先外出サポート
	外遊びで公園に行くとき同行してほしい(遊ばせたいけどなかなかいけない)	近所の公園 外出サポート

#### (2) 母親が兄姉を見るために多胎児の保育(表 4-6-3-2)

『ベビーシッター』への訪問型支援ニーズは、「二人の相手をする(上の子と遊んであげたいって、ずうっと思いつながらできない。上の子との時間をつくるため)」や、「見てくれる(上の子の授業参観を見る)」といった【母親が兄姉をみるために多胎児の保育】であった。

表 4-6-3-2 母親が兄姉をみるために多胎児の保育

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ベビーシッター	二人の相手をする(上の子と遊んであげたいって、ずうっと思いつながらできない。上の子との時間をつくるため)	お母さん独占デー 上 の子に集中できる時間
	見てくれる(上の子の授業参観を見る)	保育
	二人を見て欲しい	保育

#### (3) 掃除などの家事支援(表 4-6-3-3)

『ハウスキーパー』への訪問支援ニーズは、「家の掃除(大変なので、手伝ってほしい)」といった【掃除などの家事支援】であった。

表 4-6-3-3 掃除などの家事支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ハウスキーパー	家の掃除(大変なので、手伝ってほしい)	家事支援

### 4) 地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズ

#### (1) ホームスタートの育児支援(表 4-6-4-1)

『ホームスタート』への訪問型支援ニーズは、「公園で遊ばせるため(1人で何とかやれなくもないっていうか、我慢すれば・・・ってなった時にホームスタートが凄い助かった)」の【ホームスタートの育児支援】であった。

表 4-6-4-1 ホームスタートの育児支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ホームスタート	公園で遊ばせるため(1人で何とかやれなくもないっていうか、我慢すれば・・・ってなった時にホームスタートが凄い助かった)	最初のプログラムにソーシャルサポートを受けられるということがわかっていると使いやすい

## 5) 多胎ピアサポーター、多胎の先輩ママ・パパへの訪問型支援ニーズ

### (1) トイレトレーニングなどしつけ相談(表 4-6-5-1)

『先輩ママ』や、『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「トイレトレーニング期とかイヤイヤ期のアドバイスとか経験談。」や、「しつけ相談、トイレトレーニング相談(1対1の育児では出てこない、双子育児ならではの、たとえばトイレトレーニングのことなどを教えてほしい)」や、など、【トイレトレーニングなどしつけ相談】であった。

表4-6-5-1 トイレトレーニングなどしつけ相談

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	トイレトレーニング期とかイヤイヤ期のアドバイスとか経験談。	経験談
ピアサポーター	しつけ相談	サークル
	しつけ相談、トイレトレーニング相談(1対1の育児では出てこない、双子育児ならではの、たとえばトイレトレーニングのことなどを教えてほしい)	しつけ相談

### (2) 虐待が多くなる時期の個別相談(表 4-6-5-2)

『ピアサポーター』への訪問型支援ニーズは、「お家で個別に話して、虐待が多い時期 一歩間違えていたら私もやっていたという話がでる」といった【虐待が多くなる時期の個別相談】であった。『ピアサポーター』には専門職につなげられるような力量が求められる。

表4-6-5-2 虐待が多くなる時期の個別相談

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーター	お家で個別に話して、虐待が多い時期 一歩間違えていたら私もやっていたという話がでる	自宅 専門職につなげられる ような力量

### (3) 多胎児の成長に伴う育児相談(表 4-6-5-3)

『先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、『多胎児サークル』で「情報提供(成長するから悩みが楽になっていくかっていうと、そうではなくて、どんどん上に上がってきたら悩みがまた違う)」などの【多胎児の成長に伴う育児相談】であった。



表4-6-5-3 多胎児の成長に伴う育児相談

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
先輩ママ	情報提供(成長するから悩みが楽になっていっていかってという、そうではなくて、どんどん上に上がってきたら悩みがまた違う)	多胎児サークル

(4) イヤイヤ期の多胎児の母親への外出支援(表 4-6-5-4)

『ピアサポーターや育児ボランティア』への訪問支援ニーズは、「外出支援(子どもが離れていってしまうので、その支援は絶対に必要。この時期のイヤイヤ期、やっぱりこれは心理面でも強い方が、なかに心理の方が1人でもいるだけでも、お母さんの気持ちとか対応がコロッと変わるので、やっぱりここはチームで行ったほうがいい)」といった【イヤイヤ期の多胎児の母親への外出支援】であった。

表 4-6-5-4 イヤイヤ期の多胎児の母親への外出支援

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
ピアサポーターが、育児ボランティアとチームで	外出支援(子どもが離れていってしまうので、その支援は絶対に必要。この時期のイヤイヤ期、やっぱりこれは心理面でも強い方が、なかに心理の方が1人でもいるだけでも、お母さんの気持ちとか対応がコロッと変わるので、やっぱりここはチームで行ったほうがいい)	外出支援

6) その他(地域のボランティア、育児経験者など)への訪問型支援ニーズ

その他、地域のボランティア、育児経験者への訪問型支援ニーズはなかった。

7) 同行訪問(専門職と当事者が一緒に訪問する)への訪問型支援ニーズ

(1) 専門職と先輩ママの同行訪問による情報提供(表 4-6-7-1)

『専門職と先輩ママ』への訪問型支援ニーズは、「必要な情報、アドバイスを受ける」といった【専門職と先輩ママの同行訪問による情報提供】であった。

表 4-6-7-1 専門職と先輩ママの同行訪問による情報提供

支援者(誰が)	当事者の語る支援ニーズ(理由)	備考(スキル他)
専門職+先輩ママ	必要な情報、アドバイスを受ける	同行訪問

7. 多胎妊娠から3歳代の家庭訪問型支援ニーズのまとめ

1) 支援者ごとのまとめ

(1) 出産病院の医師、保健師、助産師、看護師への訪問型支援ニーズ

『多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで』が最も多く、【安静のアドバイスや多胎と単胎の違いについてのレクチャー】【多胎サークルや利用できる制度の紹介】【医療専門職と多胎育児経験者によるプレママパパ教室

の開催】【NICU 入院時の授乳指導や病院訪問】があげられた。【安静のアドバイスや多胎と単胎の違いについてのレクチャー】は、多胎妊娠と単胎妊娠となりがどのように違うのか、医師や助産師からレクチャーを受けたいというものであった。また、『安静に』ということが求められる多胎妊婦はどのように休めば安静になるのか、その意味や方法について、自宅安静も含めてきちんと理解したいと思っている。【多胎サークルや利用できる制度の紹介】については、保健師や助産師、看護師から地域の多胎サークルに関する情報提供を求め、妊娠中から多胎児の母親や子ども達の様子をみておきたい。また、多胎支援などについてどのような制度があるのか情報提供を求めている。さらに、【医療専門職と多胎育児経験者によるプレママパパ教室の開催】においては、産科医師や、助産師、保健師などから多胎妊娠、出産育児に関する基礎的な情報提供を求めている。【NICU 入院時の授乳指導や病院訪問】については、多胎児は低出生体重児で生まれNICUに入院することが多い。母親だけ退院しても母乳運搬や授乳などでNICUに通う毎日である。その間に助産師から乳房ケアや多胎児の授乳指導を受けることを希望している。『多胎児退院後から4か月まで』には、【NICU 看護師による多胎児の健康状態を確認】してほしいと求め、『4ヶ月以降1歳まで』には、【自宅での多胎児の健康診査】が求められた。NICU に入院中は、オキシパルメーターがつけられており酸素管理などされているが、退院後は何もないので不安になる母親も多く、退院してしばらくの間は、多胎児のことを良くわかっているNICUの看護師の訪問観察をして健康状態を確認してほしいとのことであった。1歳までは【自宅での健康診査】を求めている。『1歳代』『2～3歳代』はいずれも特に訪問型支援ニーズはなかった。

## (2) 地域行政の保健師、助産師、栄養士、他への訪問型支援ニーズ

『多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで』には、地域行政の保健師が病院訪問し、【産褥およびNICU入院中の保健師訪問による行政続きなどの説明】を求めている。これは、退院後の生活支援に結びつくものとして捉えられる。『多胎児退院後から4か月まで』は、行政の保健師による家庭訪問型支援を受け、多胎児の観察や測定をする【行政の保健師による多胎児の発育・発達の確認】が求められていた。また、退院後まだ乳房のトラブルや同時授乳などの方法なども含め多胎児の授乳に振り回されている母親へのケアとして【地域の助産師による乳房マッサージや授乳方法などの指導】が求められていた。また、この時期慣れない多胎育児などで眠れない日々が続く疲弊してくる【母親のこころの健康を保つケア】を保健師や、助産師などに求めている。

『4か月以降1歳未満まで』は、複数児の離乳食開始にあたって、発育差や食べる量の違いなどがあり、【多胎児の発育・発達に応じた離乳食指導】を保健師や栄養士に求めている。また、発達の問題など早期に発見するために【4か月以降の多胎児の健康診査】を保健師に求めている。サークルの紹介と一緒に同行してほしいと【サークルへの外出サポート】を保健師に求めている。また、助産師には【授乳指導やおっぱいのケア】、多胎児の泣き声や睡眠不足、疲弊してきた母親は虐待寸前までの行動が出てくる。保健師やカウンセラーには蓄積してきた【精神的な健康状態の確認とカウンセリング】を求めている。『1歳代』には、歩ける、歩けない、言葉を話せる、話せないなど、【多胎児の発達差に対する保健師のアドバイス】を求めている。『2～3歳代』には、【多胎児の発達や育児に関する専門職との相談】を求めている。

## (3) 家事ヘルパー、育児ヘルパーへの訪問型支援ニーズ

『多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで』は、多胎妊婦は、つわりのときから買い物支援や、妊娠後期になると腹部緊張も生じやすく安静が必要となることも多くなるため、【掃除・片付け・買い物などの家事支援と外出サポート】を家事ヘルパーに求めている。また、経産婦で兄姉がいる場合は、自宅安静や入院した場合など兄姉の世話を十分にできなくなるため【多胎児の兄姉の育児支援】を育児ヘル

パーに求めていた。『多胎児退院後から4か月まで』は、買い物に複数の子どもも一緒に外出する場合の困難さや、家事など手伝いをしてほしいなどと【買い物の同行支援や家事・育児支援】を家事、育児ヘルパーに求めていた。また、母親一人で複数の子ども達の世話、特にお風呂は困難であることから、【沐浴・お風呂などの育児サポート】を育児ヘルパーに求めていた。授乳や多胎育児で24時間、慢性的な睡眠不足で疲労困憊している母親の睡眠時間を確保、または一休みするために【母親がレスパイトできるケア】を育児ヘルパーに求めていた。『4か月以降1歳未満まで』には、この時期に里帰りから自宅に戻り多胎育児を開始している。蓄積してきた母体の疲労のため、【買い物の代行や家事・育児支援】をヘルパーに求めている。また、複数の子ども達を連れての受診行動は困難なことから【病院への受診サポート】をヘルパーに求めている。『1歳代』になると子ども達も発育・発達してくることから子ども達を自宅において母親一人で外出を希望する場合もある。【母親が一人で外出するための託児および外出サポート】を求めまた、外遊びで公園に行くとき同行してほしいなどの【公園への外出サポート】や、病気、病院等の受診の付添いなどの、【受診および健診サポート】、おむつ代やミルク代にお金がかかっているので育児サポートは無料でとするものや、無料ボランティアでは、誰が責任をとるのか、有料でも資格を持った人に育児サポートをといった【無料または有料での育児サポート】が求められていた。『2～3歳代』では、「自分で見て自分がしたいから買い物に同行してほしい」や「遊びになかなか連れていけないので同行してほしい」など、【買い物や公園への外出サポート】、また、兄弟がいる場合、「学校行事など多胎児を連れて行けないこともある」ので、【母親が兄弟を見るために多胎児の保育】をベビーシッターに求めていた。また、【掃除などの家事支援】をハウスキーパーに求めていた。

#### (4) 地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズ

『多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで』と、『1歳代』では、地域の子育て支援者への訪問型支援ニーズは無かった。『多胎児退院後から4か月まで』は、ファミリーサポートセンターなど市町村による違いはあるが退院後の早い段階から訪問できる人、【産前産後サポーターによる訪問ケア】を求めていた。『4か月以降1歳未満まで』は、母親の睡眠時間を補うため子どもが慣れている支援センターのスタッフが自宅で子ども達をみてくれる【母親がレスパイトできる訪問ケア】を、地域の遊びのリーダーには、【家庭での遊びを提案できる訪問ケア】を、多胎育児についてよく理解している講師に集団へのアウトリーチ支援としての【子育て講座の開催】を求めていた。『2～3歳代』では、最初のプログラムにソーシャルサポートをうけいれるということがわかっていると使いやすい【ホームスタートしての育児支援】であった。

#### (5) 多胎ピアサポーター、多胎育児経験者、多胎サークルへの訪問型支援ニーズ

『多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで』には、多胎妊娠・出産・育児を体験しているピアサポーターや、先輩ママたちの、【多胎妊娠や出産・育児に関する経験談】を聞きたい、両親教室などで多胎児の会や多胎育児についてなどの【多胎妊婦への情報提供】、また、多胎育児の裏技や、【多胎育児のノウハウや育児情報の提供】など、多胎妊娠期から多胎に関する情報提供を求めていた。また、妊婦健診や入院した場合には、病院に訪問し多胎妊婦に寄り添い産後の経過、多胎育児について話すなど【多胎妊婦への寄り添い】が求められた。さらに一緒に外にでてくれる支援、【多胎妊婦への外出サポート】や、病院や両親学級の間を通じたの仲間づくり、パパ友づくり、などの【多胎ママやパパの仲間作り】、退院する前に多胎育児のイメージを作り、家族も交えて話が聞けると良いといったものなど、【多胎妊婦や家族の多胎育児のイメージ作り】、また、多胎妊婦の夫は、多胎教室や飲み会などの間を通じて、先輩ママ・パパの子どもたちを先に見たり、生まれた時に休みがとりやすい制度などといった、【多胎児の父親になるための情報交換】を求めていた。妊娠期から先輩ママと顔なじみにな

っていると産後の訪問もしやすいといった【妊娠期からの継続した訪問型支援】であった。『多胎児退院後から4か月まで』は、先輩ママからの多胎児特有の育児情報や、育児相談など、【多胎育児に関する情報提供や育児サポート】、また、多胎児に関してはママのいるおうちにお手伝いに行っても良いとした【生活環境のアドバイスや家事サポート】であった。また、健診会場に同行し、健診や予防接種の介助をしながら、子育て相談や多胎育児スキルなどを伝授してくれる【健診サポートや、子育て相談・多胎育児スキルの伝授】が求められ、外出する際は、自宅までお迎えにきてもらって、その準備をして付き添う、【多胎児の自宅の玄関から外出サポート】を求めている。さらに、退院した1週間後とかに多胎児の世話を頑張っている最中の【多胎ママへの寄り添いや話し相手】であった。『4か月以降1歳未満まで』では、先輩ママには、子ども達の行動範囲も広がり始める時期、【誰か一緒に居て傾聴・相談・助言】が求められていた。また、お風呂の介助だけでもといった【お風呂の介助や家事支援】や、2人の離乳食の差についてなど【離乳食に関するアドバイス】が求められていた。ピアサポーターには、外出する際の工夫やコツを教えてもらいながらサポートをしてくれる。母親の自立支援など、【多胎児の母親が自立できるための外出や健診サポート】が求められていた。その他にも、【予防接種や通院時、多胎サークルへの外出サポート】が求められていた。さらに、ピアサポーターには、子育て教室で悩みや話したいことを出し合い、テーマに沿ってグルーブトークをする中で、気持ちを共有したり、多胎育児の工夫を学びあったり、ママやパパを取り巻く人間関係を見直したりするなどの子育て支援拠点でのふたごのつどい(集団へのアウトリーチ支援)への参加など【子育て教室でのピアサポート】が求められていた。また、なかなか父親になりきれない父親たちは【多胎児の父親の会と成長した多胎児のイメージ】を求めている。『1歳代』では、【受診や健診サポート、外出サポート】は同様であるが、先輩ママや、ピアサポーターには、ママのイライラがちょうど始まってくる時期なので話を聞いてほしい、この時期が孤立していて、おとなと話がしたいといった【孤立した母親への寄り添い】や、子どもとの関わり方や遊び方を学び合う【多胎児の母親を対象とした育児教室】、大きくなって家庭で遊んでもらえる(お母さんのリフレッシュ 子ども同士が遊ぶとすごく楽といった【多胎家庭での家事支援や子連れ訪問】多胎児特有の育児情報などの【多胎育児に関する情報提供】)であった。『2〜3歳代』でトイレトレーニング期とかイヤイヤ期であるこの時期、【トイレトレーニングなどしつけ相談】や、虐待が多い時期となり一歩間違えていたら自分もやっていたという当事者、【虐待が多くなる時期の個別相談】であった。また、多胎児の成長によって相談内容も違ってくる【多胎児の成長に伴う育児相談】や、【イヤイヤ期の多胎児の母親への外出支援】であった。

#### (6) その他(地域のボランティア、育児経験者など)への訪問型支援ニーズ

『多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで』では、近所のおばちゃんや誰でも良い、物理的な手伝いから上の子、兄姉の世話、困った時に助けや見守りになるなど、【日常生活の支えや寄り添い】が求められ、また、誰でも良い又はタクシーの運転手などには、【NICU入院中の母乳の運搬】が求められた。『多胎児退院後から4か月まで』では、スキルなどなくても良いのでお風呂のときの手がほしいと、【近所のママやおばちゃんによる沐浴やお風呂の手伝い】、また、コープの宅配や、誰でも外出時の手助けなど、【業者による玄関先までの配達や、誰でも外出時のお手伝い】が求められていた。『4か月以降1歳未満まで』では、育児経験者や育児ボランティアなどに【地域での外出サポート】や、病院や自宅などの子どもの移動、受け渡しなどの【業者による送迎サービス】であった。『1歳代』では、近所のママや、育児ボランティアには、遊びや散歩に同行、家に来て遊んでもらう、見守ってくれるなど【外出時や在宅での支えや見守り】、また、保育士には兄姉の学校行事により【多胎児を同行できない場合の育児支援】を求めている。さらに、運転手、役所の人、民生委員・児童民生委員、など地域の人々には、双子タクシーや、公的な書類作成時など、【地域や行政に求める多胎支援】であった。『2歳〜3歳代』では訪問型支援ニーズはなかった。

## （7）同行訪問（専門職と多胎育児経験者等と一緒に訪問する）への訪問型支援ニーズ

『多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで』と、『4か月以降1歳未満まで』では、訪問型支援ニーズは無かった。『多胎児退院後から4か月まで』では、保健師と先輩ママや、またはピアサポーターの同行訪問が求められ、専門職(保健師)には子どもの診察や母親の観察と、先輩ママには双子の経験談や話を聞きたいなど【保健師には多胎児の診察や母親の観察と、先輩ママには体験談や寄り添い】であった。助産師には、授乳指導やおっぱいマッサージなど、ピアサポーターには、生活の中での授乳のやり方を教えてほしいなどの、【助産師にはおっぱいケアと、ピアサポーターには育児スキルの指導】や、兄姉の世話などもあるため、【保育士と先輩ママで託児または付き添い】が求められていた。『1歳代』では、専門職と先輩ママが、外出が困難で家に籠っている人のところに訪問しアドバイスを といった【籠っている母親への専門職と先輩ママの同行訪問】であった。『2～3歳代』では、必要な情報、アドバイスを受けるために、【専門職と先輩ママの同行訪問による情報提供】であった。

## 2）多胎妊娠から3歳代の家庭訪問型支援ニーズの特徴について

多胎育児家庭の訪問型支援ニーズは、表4-7-1に示す通り78の支援ニーズに分類された。多胎妊娠から3歳代の多様な困難感を伴うこの時期に、さまざまな家庭訪問型支援が求められていることが本調査で明らかになった。本項では特に特徴的なものをまとめた。

### （1）多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまでの家庭訪問型支援ニーズの特徴

「第3章の6.多胎育児家庭の困難感のまとめ」でも述べたように、多胎の妊娠は想定外であり、情報や説明が不十分であったり、多胎妊娠の仲間が周囲にいなかったりするため、妊婦だけでなく、夫や両親も不安が大きい。このため、保健師・助産師・看護師など、医療専門職から多胎妊娠・出産に関する疑問や不安を解消するための知識を妊婦だけでなく、家族にも提供されることが求められていた。また、この時期、多胎育児経験者からは妊娠・出産の経験や、その後の多胎育児の経験を妊婦や家族が聞ける機会が求められていた。情報のない中、ハイリスクな妊娠期を送っている妊婦とその家族にとって、生の体験を聞く機会は貴重であり、多胎妊娠・出産・育児のイメージを獲得することが求められていると考える。

多胎育児はこれまでの生活の再構築を余儀なくさせる。母親だけでなく、「パパの仲間作り」「多胎児の父親になるための情報交換」という夫の心構えをもたらすサポートが妊娠中に求められていたのも、多胎育児が、それまでの生活を一変させるものであるため、事前の情報によるイメージトレーニングが求められていることを示していると考え。しかも、多胎妊婦は長期の産前入院や自宅安静になり動けなくなることが多いため、訪問場所は自宅だけでなく、入院中の病院のベットサイドが多くの人から挙がっていたのも多胎家庭の特徴である。

多胎児の兄姉がいる家庭では、この長期入院や自宅安静の時期の保育園への送迎など、兄姉へのサポートが求められていた。こうした長期安静の状況の中、母親は出産後、退院してもなかなか体力が回復できない。多胎児が低出生体重で生まれNICUに入院した場合は母乳を届けることになるが、自分で運転して病院に行くことは難しい。タクシーや母乳の運搬などのサポートを求める声もあがっていた。

### （2）多胎児の退院後から4か月までの家庭訪問型支援ニーズの特徴

多胎児が退院してきて本格的に多胎育児が始まると体力が回復していない中、養育者はエンドレスな育児・家事に追われ、睡眠不足となる。多胎育児の疲労感は大い。しかも、その育児は低出生体重で入院していた小さな乳児が2人以上という緊張感を伴うものであり、親きょうだいを含め家族の誰も経験したことのないもので

あるため、手探りで育児をスタートさせることになる。「ボロボロな状態」の中、「ちゃんと成長しているのか」「これでいいのだろうか」と不安で、「情けない」気持ちになり、育児困難感は大きくなる。「追い詰められた」状態と表現される生活が続く。こうした状況の時期には、看護師や保健師による多胎児の発育・発達の確認が求められていた。多胎児は低出生体重となりやすく、「ちゃんと成長しているか」という成長・発達への不安が大きい。その不安感の軽減が求められているものと思われる。

また、多胎育児経験者には、授乳や沐浴の仕方を初めとする多胎育児のスキルの伝授と共に、生活の中で、それをどのようにやっていくのかという生活のアドバイスや経験談が求められていた。多胎育児は情報がなく、誰もが不安の中で「これでいいのだろうか」と手探りの状態である。多胎育児経験者に、その経験に裏打ちされた言葉で「それでいいんだよ。そうやって凌いでいくうちに何とかなるよ」と認めてもらうことが母親にとっても家族にとっても大きな自信と先の見通しとなる。そうした寄り添いと共感が求められていた。この時期は昼夜なく育児に追われていて先が見えないが、こうした同じ経験をした人 と話をして共感されることで孤立感の軽減を図ることができる。多胎育児経験者には、そうした役割も求められていた。

保健師と多胎育児経験者との同行訪問は、こうした専門職による医療的な確認やアドバイスと、多胎育児経験者による子育てや生活に関する自己承認やアドバイスを同時に受けられるものとして求める声が多かった。専門職による知識の提供と支援者の経験談から多胎育児のイメージを持つことができ、同時に育児の大変さや気持ちを共有できることで育児困難感と孤立感が軽減され、エンパワメントされることは育児者に大きな力を与えると考えられる。退院後から1歳までの時期に、専門職と多胎育児経験者の両者の支援を同行訪問という形で実現している地域もあり、このような支援が全国各地でも行われていくことが望ましいと考える。この支援は、里帰りしている場合は実家でも行われる必要があると考える。

また、助産師など専門職の訪問による授乳相談や乳房ケアも求められていた。乳児の成長に欠かせない授乳がうまくいかないことも多胎育児には多く見られる。これは、多胎妊娠が切迫早産になりやすいため妊娠中の乳房ケアができないことや、多胎児が低出生体重で生まれ吸せつ力も弱く飲みが悪いことなども要因となっている。しかし、母親が小さく生まれた多胎児を連れて受診に向かうことは、現実的に困難である。専門職がその専門性を活かして、多胎特有の悩みである「飲みが悪い」「2人の授乳リズムが合わない」「同時授乳の方法が知りたい」「母乳が出ない」等の個別の授乳指導を早い段階からすることは、この時期の育児困難感の軽減につながるばかりでなく、育児意欲を回復する大きなサポートになる。さらに、この時期は、昼夜を問わず授乳に追われ、とにかく手が足りない。「疲労困憊」となる。そうした疲労感へのサポートとして家事・育児ヘルパーには、買い物や沐浴などの家事・育児サポートの他、睡眠時間を確保して疲労を回復するためのレスパイトできるケアが求められていた。

### (3) 4か月以降1歳未満までの家庭訪問型支援ニーズの特徴

4か月以降1歳未満の時期になると、授乳や生活のリズムが整ってくるため、里帰り先から自宅に戻ることが多い。これまで、実家の手助けを借りながら家事・育児をしてきた母親は、この時期から一人でこれをこなすことになり、疲労のピークを迎え、さらに離乳食の始まりが母親の疲労を増幅させる。また、乳児健診や予防接種など外出しなければならない機会も増える。この時期の後半になると多胎児も成長して動くようになるため、事故防止への緊張感も増すことから、ますます外出困難となる。

この時期には、多胎育児経験者等による乳児健診や予防接種への付き添いが求められていた。これは家庭内への訪問でなく、健診会場や病院への付き添いのため、利用する側にとってはハードルが低く受け入れやすい。こうしたソーシャルサポートを受け入れ利用した経験は、次の支援へとつながる突破口となる。自宅訪問が

困難なケースは、こうした健診会場でのサポートから始めて段階的に支援していくことが望まれる。

また、この時期に始まる離乳食の進め方に戸惑う母親も多い。栄養士には、小さく生まれた多胎児の成長に見合った離乳食の進め方や2人の食欲、食べるスピードの違いなどを考慮したアドバイスが求められていた。

#### (4) 1歳代の家庭訪問型支援ニーズの特徴

多胎児が1歳代になると、外で人と交流させ、社会性を伸ばしたいと願う時期となる。買い物や多胎サークル、公園への外出補助が求められていた。公園などでの外遊びは子どもが2人以上いるため、母親がひとりで見ることができず危険である。こうした際の危険回避のためのサポートが必要になるためである。家事・育児ヘルパーが4か月から1歳までの時期にいったん若干、需要が減るが、1歳を過ぎるとまた需要が高まるのは、このように多胎児が動くようになったことで危険が増し、再び外出が困難になる背景がある。この時期は「歩く」「指差す」などについて、多胎児間の成長・発達に差が出てくる時期でもある。「専門家にゆっくり話してアドバイスが欲しいが外出できない」ため、保健師による発達相談の訪問も求められていた。

#### (5) 2～3歳代の家庭訪問型支援ニーズの特徴

2～3歳代になると、多胎児は活動が活発になり、自我が目覚め、ケンカも激しくなり、2人の違いによるしつけに悩む時期となる。トイレトレーニングも始まり、社会性の発達や言葉の遅れなどが気になる頃である。この時期には保健師や保育士による発達相談や育児相談が求められていた。また多胎育児経験者には、トイレトレーニングやイヤイヤ期の体験談や体験に基づく共感が求められていた。

本章全体を通して特徴的なのは、多胎育児経験者等に「お出かけの工夫やコツを教えて」もらったり、「一緒に行って」もらって「自分でできるように」なったり、助産師に「授乳方法のアドバイス」を受けることで授乳が安定したりというように、さまざまな分野の支援者に、継続的に自分でできるようになる「自立支援」を求めていることである。一過性の、「楽になる」時間を求めているのではなく、多胎妊娠・出産、そしてそれに続く慣れない多胎育児によって、いったん下がってしまった体力や気力、自己肯定感等を、第三者のサポートによって回復する、すなわち「エンパワメントする支援」が求められているということである。

表 4-7-1 多胎育児家庭の訪問支援ニーズ

誰が	多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまで	多胎児の退院後から4か月まで	4か月以降1歳未満まで	1歳代	2～3歳代
出産病院の医師、保健師、助産師、看護師	【安静のアドバイスや多胎と単胎の違いについてのレクチャー】【多胎サークルや利用できる制度の紹介】【医療専門職と多胎育児経験者によるプレママパパ教室の開催】【NICU入院時の授乳指導や病院訪問】	【NICU看護師による多胎児の健康状態を確認】	【自宅での多胎児の健康診査】	無し	無し

地域行政の保健師、助産師、栄養士、他	【産褥およびNICU入院中の保健師訪問による行政手続きなどの説明】	【行政の保健師による多胎児の発育・発達の確認】【地域の助産師による乳房マッサージや授乳方法などの指導】【母親のこころの健康を保つケア】	【多胎児の発育・発達に応じた離乳食指導】【4か月以降の多胎児の健康診査】【サークルへの外出サポート】【授乳指導やおっぱいのケア】【精神的な健康状態の確認とカウンセリング】	【多胎児の発達差に対する保健師のアドバイス】	【多胎児の発達や育児に関する専門職との相談】
家事、育児ヘルパー	【掃除・片付け・買い物などの家事支援と外出サポート】【多胎児の兄姉の育児支援】	【買い物の同行支援や家事・育児支援】【沐浴・お風呂などの育児サポート】【母親がレスパイトできるケア】	【買い物の代行や家事・育児支援】【病院への受診サポート】	【母親が一人で外出するための託児および外出サポート】【公園への外出サポート】【受診および健診サポート】【無料または有料での育児サポート】	【買い物や公園への外出サポート】【母親が兄姉を見るために多胎児の保育】【掃除などの家事支援】
地域の子育て支援者	無し	【産前産後サポーターによる訪問ケア】	【母親がレスパイトできる訪問ケア】【家庭での遊びを提案できる訪問ケア】【子育て講座の開催】	無し	【ホームスタートの育児支援】
多胎ピアサポーター、多胎育児経験者、多胎サークル	【多胎妊娠や出産・育児に関する経験談】【多胎妊婦への情報提供】【多胎育児のノウハウや育児情報の提供】【多胎妊婦への寄り添い】【多胎妊婦への外出サポート】【多胎ママやパパの仲間作り】【多胎妊婦や家族の多胎育児のイメージ作り】【多胎児の父親になるための情報交換】【妊娠期からの継続した訪問型支援】	【多胎育児に関する情報提供や育児サポート】【生活環境のアドバイスや家事サポート】【健診サポートや、子育て相談・多胎育児スキルの伝授】【多胎児の自宅の玄関から外出サポート】【多胎ママへの寄り添いや話し相手】	【誰か一緒に居て傾聴・相談・助言】【お風呂の介助や家事支援】【離乳食に関するアドバイス】【多胎児の母親が自立できるための外出や健診サポート】【予防接種や通院時、多胎サークルへの外出サポート】【子育て教室でのピアサポート】【多胎児の父親の会と成長した多胎児のイメージ】	【受診や健診サポート、外出サポート】【孤立した母親への寄り添い】【多胎児の母親を対象とした育児教室】【多胎家庭での家事支援や子連れ訪問】【多胎育児に関する情報提供】	【トイレトレーニングなどつけ相談】【虐待が多くなる時期の個別相談】【多胎児の成長に伴う育児相談】【イヤイヤ期の多胎児の母親への外出支援】
その他(地域のボランティア、育児経験者など)	【日常生活の支えや寄り添い】【NICU入院中の母乳の運搬】	【近所のママやおばちゃんによる沐浴やお風呂の手伝い】【業者による玄関先までの配達や、誰でも外出時のお手伝い】	【地域での外出サポート】【業者による送迎サービス】	【外出時や在宅での支えや見守り】【多胎児を同行できない場合の育児支援】【地域や行政に求める多胎支援】、	無し
同行訪問	無し	【保健師には多胎児の診察や母親の観察と、ピアママには体験談や寄り添い】【助産師にはおっぱいケアと、ピアサポーターには育児スキルの指導】【保育士と先輩ママで託児または付き添い】	無し	【籠っている母親への専門職と先輩ママの同行訪問】	【専門職と先輩ママの同行訪問による情報提供】